

学校法人 北海道科学大学

# 2021年度 事業報告書

2021年4月1日～2022年3月31日



## 目次

はじめに	1
I. 法人の概要	2
1. 基本情報	2
(1) 法人の名称	2
(2) 主たる事務所	2
2. 経営理念・建学の精神	2
(1) 経営理念	2
(2) HUS グランドデザイン2040	2
(3) 建学の精神	3
3. 沿革	4
4. 設置する学校・学部・学科等	6
5. 設置校の学生・生徒数状況	7
6. 収容定員充足率	9
7. 役員・評議員の概要	10
8. 教職員の概要	12
II. 事業の概要	13
1. 主な教育・研究の概要	13
(1) 3つのポリシー	13
(2) アセスメントポリシー	13
2. 中期的な計画の進捗・達成状況	14
(1) 第2期中期事業計画について	14
(2) 第2期中期事業計画(2020-2024)における5つの重点目標	14
(3) ブランドビジョン実現に向けた数値目標	15
3. 2020年度事業計画の進捗・達成状況	16
(1) 重点改革事項	16
(2) 戦略事業・経常的教育活動・施設設備計画の状況	16
(3) 5つの重点目標の取り組み	17
【I. 教育の質向上】	17
【II. 研究活動活性化】	24
【III. 社会貢献】	26
【IV. 経営強化】	28
【V. ブランド推進】	32
(4) 施設設備計画	35
(5) 設置校等の廃止	37
III. 財務の概要	38
1. 決算の概要	38
(1) 貸借対照表関係	38
(2) 資金収支計算書関係	39
(3) 事業活動収支計算書関係	41

2. その他	43
(1)有価証券の状況	43
(2)借入金の状況	44
(3)学校債の状況	44
(4)寄付金の状況	44
(5)補助金の状況	44
(6)収益事業の状況	45
(7)関連当事者等との取引の状況	46
(8)学校法人間財務取引	46
3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策	46
(1)経営状況の分析	46
(2)経営上の成果と課題	47
(3)今後の方針・対応方策	47

## はじめに

学校法人北海道科学大学の2021年度事業報告書を取りまとめましたので、ここに報告いたします。

### 第2期中期事業計画(2020-2024)

私たちは、法人創立100周年を迎える2024年に向けたブランドビジョン実現のため、5カ年の計画である第2期中期事業計画(2020~2024年)を2020年度より開始いたしました。

この計画は、高大一体教育の実現に向けた北海道科学大学高等学校の前田キャンパスへの移転をはじめとした3つの重点改革事項と、5つの重点目標(1.教育の質向上、2.研究活動活性化、3.社会貢献、4.経営強化、5.ブランド推進)で構成し、四半期ごとにCAPDoサイクルを回しながら、改革を推進しています。



### 100周年ブランドビジョン

『2024年までに、基盤能力と専門性を併せ持つ人材を育成し、  
地域と共に発展・成長する北海道No.1の実学系総合大学を実現します。』

### 教職員一丸となって新型コロナウイルス感染症対策に取り組む

2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、あらゆる危機に直面した年となりました。2021年度は感染状況が収束しない中で、大学においては「リモート授業の拡充」や「ハイブリッド型授業及び教室間連携授業設備の導入」を行い、教育環境の整備を推進してきたほか、手稲溪仁会病院と大学の看護師・薬剤師協力のもと、学生および本法人の教職員約4,000名に新型コロナワクチンの接種を実施しました。高校においては生徒全員に配布しているタブレット端末を利用しオンライン授業や校内行事を展開、体育祭などの集合イベントを分散実施することで対応しました。

### 法人創立100周年に向けて「教育に情熱を」を持って取り組む

法人創立100周年に向けて、私たちは新たなメッセージとして「教育に情熱を」を掲げ、各種広報媒体をとおして発信してきました。

私たちはこの思いを胸に、ブランドビジョンの実現を目指し、まだ出口の見えないコロナ禍にあっても、学生生徒一人ひとりの学びや成長のために、従来の対面授業に加え、新たな教育手法を取り入れながら、必要とされる教育を提供するとともに、学生生徒が充実したキャンパスライフや学校生活を送れるよう日々全力を尽くしてまいります。

そのために、教職員が一丸となり「教育に情熱を」を持って取り組むことを約束します。



# I. 法人の概要

## 1. 基本情報

### (1) 法人の名称

学校法人北海道科学大学

### (2) 主たる事務所

住所: 〒006-8585 北海道札幌市手稲区前田 7 条 15 丁目 4-1

電話: 011-681-2161

ホームページアドレス: <https://www.hus.ac.jp/>

## 2. 経営理念・建学の精神

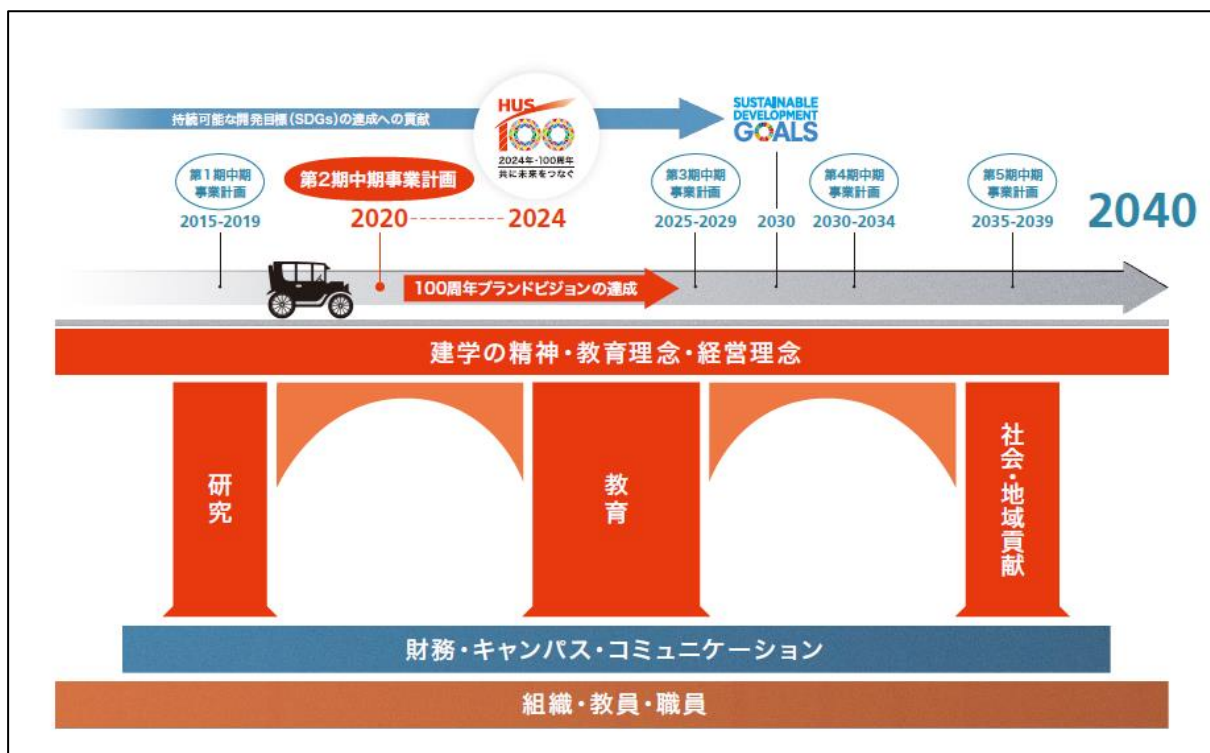
### (1) 経営理念

『新しい価値を創造する実学系教育を通じ地域社会からの期待に応え、  
一人ひとりが輝く、北海道の発展に寄与する人材を育成する。』

### (2) HUS グランドデザイン2040

本法人は創立 100 周年を迎える 2024 年以降も、これからのより良き社会の創造と持続的発展に貢献することが必須と考え、高等教育機関の3本柱である「教育」「研究」「社会・地域貢献」を持続可能な開発目標(SDGs)と連動させながら、社会環境の変化を踏まえた、新たな将来像・運営方針として「HUS グランドデザイン 2040」を策定しました。

地域を活性化する教育機関としての役割を果たすべく、人々の暮らしを支え、永続的な社会の維持・発展に寄与します。



### (3) 建学の精神

#### <北海道科学大学>

本学は、「科学的市民」の育成を教育理念の中心に据えて、知識基盤社会を担う市民としての汎用的技能・能力と時代の要請に即した専門の学術を教授・研究し、高い応用能力と健全な心身を備え、科学的思考によって専門職としての役割を主体的に果たせる人材を育成することにより、地域社会の活性化に寄与することを使命とする。

※科学的市民とは「豊かな人間性ととも、基盤能力と専門性を併せ持ち、専門職としての役割を主体的に果たせる人材」をさす。

#### <北海道科学大学短期大学部>

本学は、「科学的市民」の育成を教育理念の中心に据えて、知識基盤社会を担う市民としての汎用的技能・能力と時代の要請に即した専門の学術を教授・研究し、高い応用能力と健全な心身を備え、科学的思考によって専門職としての役割を主体的に果たせる人材を育成することにより、地域社会の活性化に寄与することを使命とする。

#### <北海道科学大学高等学校>

**校訓** 至誠一貫

「真心を持ってひとすじにつらぬき通す」の意味である。

何事にも真摯に取り組み、目標に向かって努力する態度を養うことを本校教育の柱とするものである。

#### <北海道自動車学校>

自動車の整備に関する知識と技術を教授して優秀な整備技術者を養成する。

自動車の運転免許取得に必要な知識と技術を教習して優良な運転者を育成する。

### 3. 沿革

1924	大正 13 年	8 月	自動車運転技能教授所 設立 ※本法人の創設
1936	昭和 11 年	6 月	各種学校に組織変更認可
1951	昭和 26 年	5 月	財団法人北海道自動車学校 設立認可
1953	昭和 28 年	1 月	学校法人自動車学園に組織変更認可 設置校 北海道自動車短期大学、北海道自動車学校
1953	昭和 28 年	4 月	北海道自動車短期大学 開学 自動車工業科
1955	昭和 30 年	9 月	北海道電波専門学校 開校
1956	昭和 31 年	4 月	北海道工業高等学校 開校 定時制 自動車科
1957	昭和 32 年	4 月	北海道工業高等学校 通常課程設置 全日制 自動車科、工業経営科
1963	昭和 38 年	4 月	北海道自動車短期大学 学科設置 自動車工業科(第二部)
1967	昭和 42 年	4 月	北海道工業大学 開学 工学部 機械工学科、経営工学科
1968	昭和 43 年	4 月	北海道工業大学 学科設置 電気工学科
1972	昭和 47 年	4 月	北海道工業大学 学科設置 土木工学科、建築工学科
1973	昭和 48 年	4 月	北海道工業高等学校 学科設置 普通科
1974	昭和 49 年	4 月	北海道薬科大学 開学 薬学部 薬学科、生物薬学科
1975	昭和 50 年	4 月	学校法人自動車学園 法人名称変更 学校法人自動車学園を学校法人北海道尚志学園へ
1978	昭和 53 年	4 月	北海道薬科大学大学院 設置 薬学研究科修士課程 生物薬学専攻
1980	昭和 55 年	4 月	北海道薬科大学大学院 課程設置 薬学研究科博士課程(後期) 生物薬学専攻
1985	昭和 60 年	4 月	北海道電波専門学校 設置者変更 (1955 年開校、1978 年専修学校認可)
1986	昭和 61 年	4 月	北海道工業大学 学科設置 応用電子工学科
1987	昭和 62 年	4 月	北海道電波専門学校 名称変更 北海道電波専門学校を北海道総合電子専門学校へ
1990	平成 2 年	4 月	北海道工業大学大学院 設置 工学研究科修士課程 電気工学専攻、応用電子工学専攻、建築工学専攻
1992	平成 4 年	4 月	北海道工業大学大学院 課程及び専攻設置 工学研究科修士課程 機械システム工学専攻、土木工学専攻/ 博士後期課程 電気工学専攻、応用電子工学専攻
1994	平成 6 年	4 月	北海道工業大学大学院 専攻設置 工学研究科博士後期課程 機械システム工学専攻、建設工学専攻
2000	平成 12 年	4 月	北海道薬科大学大学院 専攻設置 薬学研究科修士課程 臨床薬学専攻
2001	平成 13 年	4 月	北海道工業高等学校 学校名称変更 北海道工業高等学校を北海道尚志学園高等学校へ 北海道工業大学 学科改組 工学部 電気電子工学科、情報ネットワーク工学科、情報デザイン学科、 福祉生体工学科、環境デザイン学科、機械システム工学科、社会基盤工学科、建築学科
2003	平成 15 年	4 月	北海道自動車短期大学 専攻科設置 自動車工学専攻、車体工学専攻
2004	平成 16 年	4 月	北海道薬科大学 学科設置 医療薬学科(既存 2 学科を再編)
2006	平成 18 年	4 月	北海道薬科大学 学科設置 薬学科(6 年制)
2008	平成 20 年	4 月	北海道工業大学 学部学科改組 創生工学部 機械システム工学科、情報フロンティア工学科、 電気デジタルシステム工学科/空間創造学部 建築学科、都市環境学科/医療工学部 医療福祉工学科 未来デザイン学部 メディアデザイン学科、人間社会学科
2009	平成 21 年	3 月	北海道総合電子専門学校 廃止

2010	平成 22 年	4 月	<b>北海道薬科大学大学院 専攻設置</b> 薬学研究科修士課程 薬科学専攻
2012	平成 24 年	4 月	<b>北海道薬科大学附属薬局(収益事業) 開設</b> <b>北海道工業大学 学科設置</b> 医療工学部 義肢装具学科 <b>北海道工業大学大学院 専攻設置</b> 工学研究科修士課程 電気電子工学専攻、情報工学専攻、医療工学専攻 <b>北海道薬科大学大学院 専攻設置</b> 薬学研究科博士課程 臨床薬学専攻
2014	平成 26 年	4 月	<b>学校法人北海道尚志学園 名称変更</b> 学校法人北海道尚志学園を学校法人北海道科学大学へ <b>北海道工業大学、北海道自動車短期大学 名称変更</b> 北海道工業大学を北海道科学大学、北海道自動車短期大学を北海道科学大学短期大学部へ <b>北海道科学大学 学部学科改組</b> 工学部 機械工学科、情報工学科、電気電子工学科、建築学科、都市環境学科 保健医療学部 看護学科、理学療法学科、義肢装具学科、臨床工学科、診療放射線学科/未来デザイン学部 メディアデザイン学科、人間社会学科
2015	平成 27 年	4 月	<b>北海道薬科大学及び北海道科学大学短期大学部が前田キャンパスへ移転</b>
2016	平成 28 年	4 月	<b>北海道科学大学大学院 専攻設置</b> 工学研究科博士後期課程(既存 4 専攻を再編) <b>北海道尚志学園高等学校 名称変更</b> 北海道尚志学園高等学校を北海道科学大学高等学校へ
2017	平成 29 年	4 月	<b>北海道科学大学短期大学部 学科名称変更</b> 自動車工業科第一部を自動車工学科へ <b>北海道科学大学高等学校学科再編</b> 普通科/工学科
2018	平成 30 年	4 月	<b>北海道科学大学と北海道薬科大学を統合</b> 北海道科学大学に薬学部薬学科を開設 北海道科学大学大学院専攻開設 薬学研究科/博士課程/臨床薬学専攻 保健医療学研究科/修士課程/看護学専攻、リハビリテーション科学専攻、医療技術学専攻
2020	令和 2 年	4 月	<b>北海道科学大学大学院専攻及び専攻科開設</b> 保健医療学研究科博士後期課程 保健医療学専攻、専攻科 公衆衛生看護学専攻科
2021	令和 3 年	4 月	<b>北海道科学大学 北海道科学大学大学院工学研究科修士課程医療工学専攻廃止</b>
2022	令和 4 年	3 月	<b>北海道科学大学短期大学部閉学</b>



#### 4. 設置する学校・学部・学科等

(2021年5月1日現在)

##### 北海道科学大学 (北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号)

学部・研究科名等		学科・専攻・専攻科名	
学部	工学部	機械工学科	
		情報工学科	
		電気電子工学科	
		建築学科	
		都市環境学科	
	薬学部	薬学科	
	保健医療学部	看護学科	
		理学療法学科	
		義肢装具学科	
		臨床工学科	
		診療放射線学科	
	未来デザイン学部	メディアデザイン学科	
		人間社会学科	
専攻科	公衆衛生看護学専攻科		
大学院	工学研究科	修士課程	機械工学専攻
			電気電子工学専攻
			情報工学専攻
			建築学専攻
			都市環境学専攻
		博士後期課程	工学専攻
	薬学研究科	博士課程	臨床薬学専攻
	保健医療学研究科	修士課程	看護学専攻
			リハビリテーション科学専攻
医療技術学専攻			
	博士後期課程	保健医療学専攻	

##### 北海道科学大学短期大学部 (北海道札幌市手稲区前田7条15丁目4番1号)

学科名
自動車工学科

##### 北海道科学大学高等学校 (北海道札幌市豊平区中の島2条6丁目2番3号)

学科名
普通科
工学科

北海道自動車学校 (北海道札幌市豊平区中の島2条6丁目2番4号)

科名	種別
本科 (公安委員会指定)	普通一種
	準中型
	大型特殊
	大型二輪
	普通二輪 (400cc以下)
	普通二輪限定 (125cc以下)

北海道科学大学附属薬局 (北海道札幌市中央区北3条東1丁目1番1号)

5. 設置校の学生・生徒数状況

(2021年5月1日現在)

北海道科学大学

(学部)

(人)

学部名	学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数						卒業者数	就職者数	
					1年	2年	3年	4年	5年	6年			計
工学部	機械工学科	92	368	113	118	106	64	75			363	68	62
	情報工学科	90	360	81	84	95	98	104			381	95	91
	電気電子工学科	80	320	90	91	133	76	55			355	53	47
	建築学科	80	320	79	82	80	103	86			351	85	80
	都市環境学科	50	200	46	51	67	48	36			202	35	35
薬学部	薬学科	180	1,140	146	156	201	191	190	176	203	1,117	164	132
保健医療学部	看護学科	90	330	97	99	88	89	91			367	91	76
	理学療法学科	50	170	57	60	45	50	37			192	34	34
	義肢装具学科	30	180	34	39	31	25	16			111	14	11
	臨床工学科	70	280	76	79	75	75	73			302	72	65
	診療放射線学科	50	200	52	56	73	59	49			237	48	43
未来デザイン学部	メディアデザイン学科	80	320	80	82	103	101	71			357	68	52
	人間社会学科	50	200	51	52	56	64	44			216	42	35
合計		992	4,388	1,002	1,049	1,153	1,043	927	176	203	4,551	869	763

(専攻科)

(人)

専攻科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数	卒業者数	就職者数
				1年		
公衆衛生看護学専攻科	8	8	7	7	7	7

(大学院)

(人)

研究科名	専攻名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数					卒業者数	就職者数	
					1年	2年	3年	4年	計			
工学 研究科	修士 課程	機械工学専攻	5	10	3	3	3	/	/	6	2	2
		電気電子工学専攻	4	8	3	3	3	/	/	6	3	2
		情報工学専攻	4	8	0	0	5	/	/	5	5	5
		建築学専攻	4	8	5	5	1	/	/	6	1	1
		都市環境学専攻	4	8	0	0	0	/	/	0	0	0
		計	21	42	11	11	12	/	/	23	11	10
	博士 後期 課程	工学専攻	6	18	0	0	2	3	/	5	3	3
		計	6	18	0	0	2	3	/	5	3	3
薬学 研究科	博士 課程	臨床薬学専攻	3	12	2	2	1	0	0	3	0	0
		計	3	12	2	2	1	0	0	3	0	0
保健医療学 研究科	修士 課程	看護学専攻	5	10	6	6	13	/	/	19	7	5
		リハビリテーション科学専攻	4	8	3	3	3	/	/	6	3	3
		医療技術学専攻	4	8	6	6	3	/	/	9	3	3
		計	13	26	15	15	19	/	/	34	13	11
	博士 後期 課程	保健医療学専攻	3	6	3	3	4	0	/	7	0	0
		計	3	6	3	3	4	0	0	7	0	0
合計		46	104	31	31	38	3	0	72	27	24	

## 北海道科学大学短期大学部

(人)

学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数			卒業者数	就職者数
				1年	2年	計		
自動車工学科	/	100	/	/	46	46	42	36

## 北海道科学大学高等学校

(人)

学科名	入学定員	収容定員	入学者数	在学者数				卒業者数	進学 者数	就職 者数
				1年	2年	3年	計			
普通科	300	900	368	368	332	273	973	269	245	10
工学科	/	80	/	/	/	48	48	48	43	4
合計	300	980	368	368	332	321	1,021	317	288	14

## 北海道自動車学校

科 名	種 別	教習時間(時間)	教習生数(人)
本 科 (公安委員会指定)	普通一種	34	942
	準中型	41	29
	大型特殊	12	19
	大型二輪	36	26
	普通二輪 (400cc 以下)	19	81
	普通二輪限定 (125cc 以下)	12	27
合 計			1,124

※北海道自動車学校教習生は、2021 年度年間入校者数

## 6. 収容定員充足率

(2021 年 5 月 1 日現在)

(%)

設置校名	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	
北海道科学大学	学部	106.6	101.8	100.5	103.1	103.7
	専攻科				62.5	87.5
	大学院	53.0	51.8	57.1	67.3	69.2
北海道科学大学短期大学部	66.7	54.0	59.6	62.0	46.0	
北海道科学大学高等学校	73.0	77.2	81.2	93.2	104.2	

## 7. 役員・評議員の概要

(2021年5月26日現在)

### 役員

役職	氏名	役員就任年月日	主な現職等
理事長	苫米地 司	2010年5月26日	
常務理事	加藤 智彦	2018年4月1日	総括・人事・広報担当 理事長・学長政策室長
	渡辺 正大	2018年4月1日	財務担当
	高島 宏恭	2017年12月19日	設置校経営担当 北海道科学大学 事務局長 北海道科学大学短期大学部 事務局長
	渡辺 泰裕	2012年4月1日	教学担当 北海道科学大学 学長 北海道科学大学短期大学部 学長
理事（常勤）	橋本 達也	2019年9月19日	北海道科学大学高等学校 校長
	川上 敬	2020年5月28日	北海道科学大学 副学長 北海道科学大学短期大学部 副学長
	稲垣 秀昭	2020年5月28日	北海道自動車学校 校長
理事（非常勤）	小林 敏道	2018年5月25日	(株)コバエンジニア 代表取締役
	田中 正人	2010年8月23日	田中・山崎法律事務所 所長、弁護士
	檜森 聖一	2010年8月23日	(株)北海道二十一世紀総合研究所 顧問
	田中 繁道	2013年5月27日	医療法人溪仁会 理事長
	柴田 龍	2019年9月19日	(株)北洋銀行 取締役副会長
	星野 尚夫	2021年5月26日	(一社)札幌観光協会 特別参与
監事（常勤）	茶島 豊	2020年4月1日	
監事（非常勤）	柳沼 正直	2013年5月27日	
	中村 栄作	2021年5月26日	(株)北海道二十一世紀総合研究所 代表取締役会長

### <役員賠償責任保険制度への加入状況>

保険名	私大協役員賠償責任保険
加入時期	2021年5月1日
団体契約者	日本私立大学協会
被保険者	記名法人: 学校法人北海道科学大学
	個人被保険者: 理事・監事、評議員、執行役員、管理職従業員、社外派遣役員、退任役員
補償内容	役員(個人被保険者)に関する補償: 法律上の損害賠償金、争訟費用等
	記名法人に関する補償: 法人内調査費用、第三者委員会設置・活動費用等
支払対象とならない主な場合	法律違反に起因する対象事由等
保険期間中総支払限度額	5億円

## 評議員

常勤・非常勤	氏名	評議員就任年月日	主な現職等
常勤	渡辺 一弘	2012年4月1日	北海道科学大学教授、副学長
	鈴木 和彦	2015年4月1日	北海道科学大学教授、副学長
	石田 眞二	2018年5月25日	北海道科学大学教授、副学長
	林 裕子	2018年5月25日	北海道科学大学教授、看護学専攻長
	宮坂 智哉	2020年5月28日	北海道科学大学教授、保健医療学部長
	真田 博文	2021年5月26日	北海道科学大学教授、工学部長
	戸田 貴大	2021年5月26日	北海道科学大学教授、薬学部長
	梶谷 崇	2021年5月26日	北海道科学大学教授、未来デザイン学部長
	熊倉 真治	2018年5月25日	(学)北海道科学大学 総務部長
	蔵野 雅行	2018年5月25日	(学)北海道科学大学 財務部長
	横山 淳一	2019年5月27日	(学)北海道科学大学 学務部長
	木原 雅人	2020年5月28日	(学)北海道科学大学 入試・地域連携部長
	北條 誠	2020年5月28日	(学)北海道科学大学 人事企画室長 総務部次長(人事担当)
佐々木卓也	2020年5月28日	北海道科学大学高等学校 事務室長	
非常勤	武井 久	2018年5月25日	(有)武井企画設計 代表取締役
	唐澤 豪貴	2013年5月27日	(株)からさわ薬局 代表取締役
	九谷田 旭	2005年5月30日	(株)共和 代表取締役
	高橋 克朋	2018年5月25日	高橋克朋事務所 札幌市議会議員
	竹内 伸仁	1997年5月30日	(有)たけうち薬局 代表取締役社長
	木村 信広	2021年5月26日	北海道エネルギー(株) 代表取締役社長
	工藤 昌史	2021年5月26日	(公財)北海道科学技術総合振興センター クラスター統括部長
	菊地 秀一	2021年5月26日	(福)札幌みどり福祉会 常務理事

## 役員・評議員の定員数、現員数

(人)

理事・監事・評議員の別	常勤・非常勤	定員数	現員数	計
理事(兼評議員)	常勤	10~21	8	14
	非常勤		6	
監事	常勤	2~4	1	3
	非常勤		2	
評議員(理事含)	常勤	24~48	22	36
	非常勤		14	

## 8. 教職員の概要

(2021年5月1日現在)

### 教職員

※北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部を兼務する学長・副学長は北海道科学大学の教員に記載

職 種		所 属	人数(人)	平均年齢(歳)
教育系職員	教 員	北海道科学大学	239	50.1
		北海道科学大学短期大学部	11	52.5
		北海道科学大学高等学校	56	49.9
		北海道自動車学校	5	57.0
		計	311	50.3
事務職員(契約職員を含む)	北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部 (理事長・学長政策室、内部監査室を含む)		128	41.5
	北海道科学大学高等学校		12	50.8
	北海道自動車学校		1	56.0
	計		141	42.4
収益事業職員	薬剤師	北海道科学大学附属薬局	4	41.0
	事務員		3	34.0
	計		7	38.0
合計			459	47.7

### その他の教職員

(人)

所属	嘱託職員	臨時職員	派遣職員	パート 薬剤師	非常勤 教員	計
事務局	0	3	1	0	0	4
北海道科学大学	0	0	0	0	211	211
北海道科学大学短期大学部	0	0	0	0	2	2
北海道科学大学高等学校	0	1	0	0	24	25
北海道自動車学校	24	23	0	0	0	47
北海道科学大学附属薬局	0	0	0	2	0	2
合計	24	27	1	2	237	291

## II. 事業の概要

### 1. 主な教育・研究の概要

#### (1) 3つのポリシー

北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部では、建学の精神・教育理念や社会のニーズを踏まえ、育成すべき人材像を明確化し、これを具現化するために、学部・学科ごとに人材養成の目的と3つのポリシーを策定しています。

<ディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)>

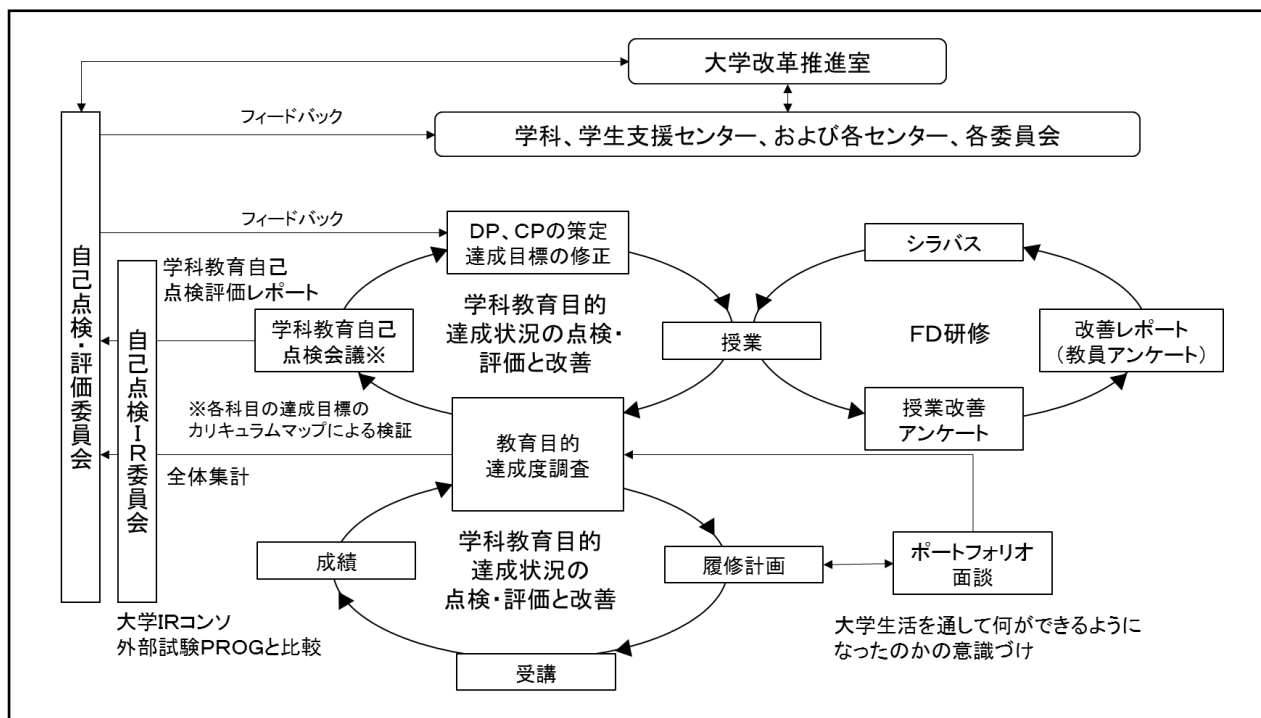
HP よりご確認ください。

北海道科学大学	<a href="https://www.hus.ac.jp/about/info/policies/">https://www.hus.ac.jp/about/info/policies/</a>
北海道科学大学短期大学部	<a href="https://jc.hus.ac.jp/jc_policy.pdf">https://jc.hus.ac.jp/jc_policy.pdf</a>

#### (2) アセスメントポリシー

北海道科学大学・北海道科学大学短期大学部ではディプロマ・ポリシー(DP)、カリキュラム・ポリシー(CP)、アドミッション・ポリシー(AP)の3つのポリシーに基づく教育の実施と不断の改善・改革を教育の内部質保証の中核ととらえます。

下図のとおり、大学全体、学部・学科及び授業科目レベルごとに教育目的達成状況を確認し、教育の改善を継続して行います。



教育目的達成状況の評価とフィードバックの体制



## 2. 中期的な計画の進捗・達成状況

### (1) 第2期中期事業計画について

法人創立100周年である2024年度に向けたブランドビジョンを実現するため、2020年度から5か年にわたる第2期中期事業計画を策定しました。



第2期中期事業計画概要図

100周年に向けた重点改革事項として、以下の事業を実施します。

- ・北海道科学大学高等学校の前田キャンパス移転による高大一体教育の実現
- ・Society5.0に対応したデータサイエンス教育の全学展開
- ・100周年記念会館による「学ぶと人生をつなぐ」能動的学習の推進

上記に加え、法人及び各設置校が一丸となって取り組む教育の質向上をはじめとする5つの重点項目及び目標を定めています。

### (2) 第2期中期事業計画(2020-2024)における5つの重点目標

#### 【I. 教育の質向上】

建学の精神に謳われる「科学的市民の育成」により、複雑多様化、グローバル化が進展し、予測 不可能な時代にあっても主体的に社会を支える人材を輩出する。

このため、「プロフェッショナル教育」の理念に基づいて、学修者本位の教育への転換を推進する。高等学校にあっては、生きて働く「知識・技能」の習得、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養の実現により、アドミッションやその後の高等教育に生かせる資質能力の育成を目標とする。

## 【Ⅱ. 研究活動活性化】

本学の特色を生かした、医・薬・工連携による学際的・学融合的研究の推進によるイノベーションの創出、社会還元を図る。

## 【Ⅲ. 社会貢献】

地域社会の核として、産業界や地方公共団体とともに、北海道の高等教育の将来像や具体的な連携・交流方策について議論する「地域連携プラットフォーム」の構築を目指す。

## 【Ⅳ. 経営強化】

キャンパス再整備計画(第1期)の成果としての前田キャンパス移転、大学統合によるスケールメリット(共通の教育研究組織、事務部門の簡素・合理化等)を発揮し、運営コストを削減するとともに、限りある経営資源をⅠ～Ⅲの重点領域に再配分及び集中的に投資する。

## 【Ⅴ. ブランド推進】

私達の信条として掲げた「+Professional」「地域共育力」の旗印の下、100周年記念事業、ブランド推進活動、特色ある教育研究活動並びに地域貢献活動等の個別の取組を一貫したストーリーとして、以下のコンセプトに位置づけ、分かりやすく社会に発信し、認知度の向上を図る。

- ・地域活性化に向けた取組
- ・北海道の地域課題に対応、地域資源を生かした取組
- ・本法人の歴史(レガシー)の創出・承継に向けた取組

### (3)ブランドビジョン実現に向けた数値目標

法人創立100周年である2024年度に向けたブランドビジョンを実現するため、第2期中期事業計画では以下の数値目標を定めています。

#### 設置校ごとの数値目標と達成状況

青字は目標達成

設置校	項目	目標値	2020	2021	2022
北海道科学大学	入学定員充足率	学部:100%	113.9%	101%	115%※1
		大学院:70%	63%	67%	52%※1
	実質倍率(学部延べ)	2.2倍	2.0倍	2.1倍	1.8倍※1
	志願者総数	2,500名	2,412名	2,121名	2,134名※1
	中退率	2.8%以下	2.5%	2.5%	
	学生満足度	80%以上	52.9%	59.5%	
北海道科学大学 高等学校	1年以内離職率	10%以下	8.5%	※3	
	入学定員充足率	100%	111.7%	122.7%	126.3%※1
	国公立大・難関私大 進学率※2	10%	5.4%	9.2%	
北海道自動車学校	系列大学進学率※2	40%	27.9%	25.4%	
	入校者数	1,700名	1,213名	1,124名	

※1 入学年度の入試結果

※2 就職希望者除く

※3 2021年度結果については調査中

### 3. 2020 年度事業計画の進捗・達成状況

#### (1) 重点改革事項

##### ①北海道科学大学高等学校の前田キャンパス移転による高大一体教育の実現



北海道科学大学高等学校の前田キャンパス移転(2023年4月)に向け、北海道科学大学との高大連携・接続をさらに強化し、高校・大学を通じて生徒・学生の成長を見守る、高大一体教育の実現に向けた取組を進めております。

##### ②Society5.0に対応したデータサイエンス教育の全学展開

北海道科学大学の教育改革として、「Society5.0に対応したデータサイエンス教育」を2021年度新入生から全学で展開しています。

##### ③100周年記念会館による「学ぶと人生をつなぐ」能動的学習の推進

建築後、35年を迎える現在の図書館は、「能動的学習の推進」をコンセプトに、「学ぶと人生をつなぐ」100周年記念会館として生まれ変わります。

また、2023年3月の開館(予定)に向け、2022年春から図書館の愛称募集をしています。



#### (2) 戦略事業・経常的教育活動・施設設備計画の状況

2021年度の事業計画の進捗・達成状況については以下に示します。全78件のうち約91%(完了:約56%、予定通り進行中:約35%)が計画を遂行している中、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業が1件中止となっています。

事業分野・重点目標名		◎ 完了	○ 予定通り 進行中	△ 問題・課題 あり	× 中止	計
戦略事業	I. 教育の質向上	9	12	2	0	23
	II. 研究活動活性化	2	0	1	0	3
	III. 社会貢献	1	2	0	0	3
	IV. 経営強化	6	2	2	0	10
	V. ブランド推進	1	3	0	0	4
	計	19	19	5	0	43
経常的教育活動		15	7	0	1	23
施設・設備整備計画		10	1	1	0	12
合計		44	27	6	1	78

### (3)5つの重点目標の取り組み

※目標指標・数値：2024年度までに達成する目標

※達成度：2021年度時点の状況(◎ 完了、○ 予定通り進行中、△ 問題・課題あり、× 中止)

#### 【I. 教育の質向上】

##### <戦略事業>

北海道科学大学(17件)

1	<b>データサイエンス教育対応教育資材の導入</b> 【工学部】	達成度	○
---	-------------------------------------	-----	---

##### 【目標指標・数値】「数理・データサイエンス・AI」基礎共通科目創設と全学科への展開

基礎的DS(データサイエンス)教育から高度DS教育までに対応可能な動画教材を活用した学習環境の整備・活用に向け、工学部(機械工学科、情報工学科、電気電子工学科)では先行して、教員や一部の学生、大学院生の協力を得て教材としての効果検証や次年度からの本格利用に向けた授業の設計等を進めています。また、保健医療学部での利用については、共同研究を行っている教員が検討を継続しています。そのほかの学科での活用についても、引き続き検討を進めています。

2	<b>社会の要請に対応した情報人材を育成するための実験環境整備並びに教材開発</b> 【工学部 情報工学科】	達成度	○
---	---	-----	---

##### 【目標指標・数値】AIおよびビッグデータに関する教育の実行

ドローンを題材としたAI実験用教材を開発し、後期から利用開始、学生が熱心に実験に取り組む様子が見られました。また、AI計算用サーバ、GPUサーバは、継続して運用・活用しています。PBL教育用機材(自律走行ロボット実験)については、2022年度前期利用予定のため、検証作業を進めています。

3	<b>IoT・AI・データサイエンス環境を構築する講義の整備と実施</b> 【工学部 電気電子工学科】	達成度	◎
---	--	-----	---

##### 【目標指標・数値】工学部全体への講義展開と出前授業・オープンキャンパス等への活用

サーバの設定は完了し、ネットワーク経由でデータを蓄積するシステムは未完了ですが、年度内に構築が完了しました。また、春季休業中に2名の学生が活動する予定です。

4	<b>電気自動車に関わる電気電子技術教育の推進</b> 【工学部 電気電子工学科】	達成度	○
---	--	-----	---

##### 【目標指標・数値】受講生に対する自動車業界への就職斡旋(内定者7名)

本年度の授業では納品に時間を要したことにより、実習装置を使用できませんでしたが、テキストを含む実験環境を構築することができました。次年度は多くの学生に電気自動車モータの制御技術を習得させたいと考えています。

5	<b>カリキュラムの点検・改善検討 【工学部 建築学科】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	--------------------------------------	------------	---

**【目標指標・数値】次期カリキュラム立案**

一級建築士試験の本学卒業生の合格者は14名、2020年度卒業生の一級建築士合格者1名(一次試験合格者3名中)でした。学科開講科目「総合演習Ⅰ、Ⅱ」の模擬試験結果は、学科FDで情報を共有しエクステンション講座の受講状況、講座内模試結果を含めて、理解度・達成度の低い分野については、学科教員による特別講義の開講を検討します。エクステンション講座は開講から3年が経過しており、提携先(受検指導機関)について、次年度プロポーザル方式で講座内容を比較し、再選定を行います。

6	<b>CIM 時代に対応した建設技術者育成プログラムの構築 【工学部 都市環境学科】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	--	------------	---

**【目標指標・数値】次期カリキュラムでの運用**

建設情報Ⅱにて講義内容の一部再編及び新システムを活用した演習内容の拡充を行いました。その結果、授業評価アンケートにて、非常に高い評価を得られました。また、高大連携教育で活用することで、高校生に対する建設業のイメージを変える取組みとして効果を発揮しました。就職関連企業との面談により、本学科の取組みは他大学にない先進的な取組みであると実感できたとともに、本事業に対する企業の期待の大きさが明らかとなりました。次年度の講義で、さらに充実させていく予定です。

7	<b>学習環境整備のための教室改装 【学生支援センター】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	--------------------------------------	------------	---

**【目標指標・数値】2021年度第3期より使用開始**

A210・A211講義室を改修したことで、平常時収容人数264人、試験体制(コロナ禍での運用もこの体制)収容人数176人の大講義室となり、在籍学生数の多い学科において、対面授業の実施が可能になりました。

8	<b>北海道における看護を担う人材育成を目指したシミュレーション教育環境の構築 【保健医療学部 看護学科】</b>	<b>達成度</b>	○
---	---	------------	---

**【目標指標・数値】4年次学生80名への模擬授業実施**

測定が可能なシミュレーション人形数が学生数に対し少ないため、学生の実施時間や内容が制限されましたが、身体所見などをシミュレータで再現することで、リアルな現場を再現することができ、学生の判断を養う実習ができました。次年度は、看護学実習や演習においてシミュレーションを用いた授業を展開するため、シミュレーション教育の精度の向上に努めていきます。

9	<b>時代に即した臨床工学技士の養成 【保健医療学部 臨床工学科】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	---	------------	---

**【目標指標・数値】教育目的達成度(ディプロマ・ポリシーの達成度を学生が自己評価):3.0以上**

心臓血管カテーテル業務に関して、理解を深めるため、教員の手技を録画した映像を学生に視聴させる授業を展開するとともに、血管インターベンションシミュレーショントレーナを導入し、臨床現場を想定した学内実習を実施しました。当該授業のアンケート結果では肯定的な回答が多く得ることができました。今後も、更なる教育内容の質向上を目指します。

10	<b>診療放射線技師教育の強化・充実のための環境整備 【保健医療学部 診療放射線学科】</b>	達成度	◎
----	---	-----	---

**〔目標指標・数値〕診療放射線技師教育の改革と質の向上**

指定規則変更に伴うカリキュラム再編については文科省への申請が完了し、また、必要備品の購入についても全て整備が完了しました。推薦入試の面接方法のあり方については、入試広報センターと連携して当初の計画どおり環境を整えました。2022年度全国私立技師養成施設長会議の幹事校対応準備については、2022年度幹事校との引継ぎが完了しました。

11	<b>PBL センターの設置と環境整備 【全学共通教育部】</b>	達成度	△
----	---------------------------------------	-----	---

**〔目標指標・数値〕2、3年次生に就職試験を視野に入れた基礎学力強化のための学修支援の実施**

12月15日徳島大学、2月24日東京電機大学、オンラインにて2月8日山梨学院大学への訪問調査を実施しました。調査結果を取りまとめ、報告書を作成しました。PBLアドバイザー養成講座は2名が受講を修了しています。調査期間の終了及び期間延長の条件に至らなかったため、2022年度以降、戦略事業としての実施は中止となる予定です。

12	<b>入学前から初年次教育を経て、卒業までの一貫した基礎学力強化プログラムの策定 【全学共通教育部】</b>	達成度	○
----	--	-----	---

**〔目標指標・数値〕就職試験を視野に入れた基礎学力強化の教材の選定及び実施**

各科目の支援状況総括を行いました。英語は支援対象者の定期試験の成績に有意な効果が見られ、また、数学、物理、化学は授業と連動した支援を強化した結果、情報工学科と電気電子工学科の利用者が増加しました。ラーニングサポート室はHITプラザ改修のため、D棟に移転し対面の支援を行っていましたが、改修が終了したため3月末にHITプラザへ移転し、対面による支援を再開しております。

13	<b>教育系基幹システムの更新 【学生支援センター・就職支援センター・入試広報センター】</b>	達成度	◎
----	--	-----	---

**〔目標指標・数値〕入試・教務・就職データの一元化、全システムの稼働**

学生支援センター、就職支援センター、学術情報センターでシステム導入プロジェクトを編成し、システムの導入検討やデータ移行、操作マニュアル整備等を行い導入が完了しました。

3月上旬に教員向けの新システム(HUS-UNIPA)マニュアルを公開し、あわせて、主要機能の説明動画を配信、学生や非常勤教員への連絡を行い、3月25日より本格稼働をすることができました。



HUS-UNIPA

14	<b>授業内外での学習支援、修学支援の充実 【学生支援センター】</b>	達成度	○
----	--	-----	---

**〔目標指標・数値〕正課外学修サポートでのチュードント・アシスタント(SA)希望調査の実施  
需要に対応した制度再設計、2023年度からの適用開始**

2022年度前期のSA委嘱は、積極的な活用について学生支援センター会議で呼びかけを行ったものの、2学部4学科89名の委嘱実績となりました。さらに活用を促すため、積極的に活用している建築学科の事例報告を依頼し、SAを活用していない保健医療学部・未来デザイン学部に対して、後期からの活用について検討できるよう働きかけをします。

15	<b>医療系競合対策の強化 【入試広報センター】</b>	達成度	◎
----	----------------------------------	-----	---

**〔目標指標・数値〕保健医療学部、薬学部の定員充足**

理学療法学科と臨床工学科の在学生動画を12月よりYouTubeに公開し、3月時点で700回ほどの再生回数となっています。また、30校分の高校別パンフレットを作成し、3月に高校訪問にて配布が完了しています。各校に限定したパンフレットは初めて見るという反応が多く、インパクトは大きいものと考えられ、今後の資料請求やオープンキャンパス参加へ繋がること、高校とのリレーション構築に寄与することを期待します。

16	<b>新入生の図書館利用による能動的学習の促進 【学術情報センター】</b>	達成度	○
----	--	-----	---

**〔目標指標・数値〕初年次教育科目における図書館利用による能動的学習を全学科で実施**

2022年4月からの実施に向けて各学科の実施方法等をシラバスで確認を行います。  
また、次年度、図書館改修のため6月末で休館となるため、早い時期に実施するよう周知します。

17	<b>アセスメント・ポリシーの実質化 【自己点検 IR 委員会】</b>	達成度	○
----	--	-----	---

**〔目標指標・数値〕アセスメント・ポリシーの実質化に向けた自律的な点検改善サイクルの確立**

「教務新システムと連動した学生個々の学修成果の可視化のシステム化」、「シラバス情報の整理、カリキュラムマップ詳細版書式の改良、カリキュラムフロー書式の改良と学修成果の可視化、カリキュラム体系性の整備と科目コードの修正」、「DP達成を項目別に評価する情報・エビデンスの準備、未実施となっている学修成果の評価の実施」について、引き続き検討を進めていきます。

また、「外部試験による評価の継続と充実」について、大学統合後初となる、薬学部を含めた全学科分のPROG初年次と、高学年次結果の比較に関する報告を行いました。「卒業時アンケート、卒業生調査、企業調査の実施と分析」については、調査の分析結果を共有し、結果を本学HPに公表しました。

北海道科学大学高等学校(3件)

1	多様なグローバル体験と世界に向き合う人材の育成	達成度	○
---	-------------------------	-----	---

〔目標指標・数値〕生徒への英語教育の強化と難関大学進学実績の向上

ALTは1年生全クラスにて、「ツールとしての英語」、「コミュニケーションとして楽しむ英語」の意識づけに寄与しており、授業アンケートの結果での生徒の反応は良好です。また、エンパワメントプログラム(国内にいる留学生とのディスカッション)には本校生徒26名の希望者が集まり、中学生向け学内見学会と併せて実施し、保護者からも好評をいただきました。大学と協力したグローバル体験(台湾研修の再開及びイングリッシュキャンプ)の企画や、海外連携先のニュージーランド及びカナダの訪問再開に向けての調整を進めています。



エンパワメントプログラムの様子

2	教科指導力向上に向けた研修体制の整備	達成度	△
---	--------------------	-----	---

〔目標指標・数値〕授業改善とコンプライアンス保持を目的とした教員研修と新任研修を四半期1回開催

ICT講習や実際のオンライン授業対応の経験が蓄積され、教員のスキルが向上し、オンライン研修についても検討しましたが、3、4月で訪問校を精査、実際に視察を行い、進学指導に活かしていきたいと考えています。

3	探究学習の充実	達成度	○
---	---------	-----	---

〔目標指標・数値〕探究学習充実のための取組検討と実施

2学年15名の国内外研究者等のサポートを受け、スタートすることができ、9月に中間発表、3月にポスターセッションを行いました。また、SSHの実現については、現時点では新カリキュラム・コンカレントプログラムの対応を優先し、状況を見ながら検討を進めていきます。

※SSH: スーパーサイエンスハイスクール。文部科学省が科学技術や理科・数学教育を重点的に行う高校を指定する制度のこと。

北海道自動車学校(3件)

1	教習指導心得プロジェクト	達成度	○
---	--------------	-----	---

〔目標指標・数値〕教習指導心得プロジェクトにおける教習生アンケート回答(良)割合:95%

12月に顧客満足度を高める「対話力強化研修」を実施し、次回のフォロー研修の効果を上げるため、振返りシートを配付することで研修効果を維持していきたいと考えています。次年度はフォロー研修及び正職員として成果を上げるための「意識改革研修」実施します。



2	<b>担当制の導入(研修所、他校訪問の実施含む)</b>	<b>達成度</b>	○
---	------------------------------	------------	---

〔目標指標・数値〕担当制における教習生アンケート回答(良)割合:90%

指導員数と入校数のバランスを考え、入校制限を行い実施しています。4月まで入校待ちの状況でしたが、1名でも多く入校・卒業できるよう、指導員に時間外勤務・休日出勤を依頼・調整を行いました。

3	<b>学科教習改善</b>	<b>達成度</b>	◎
---	---------------	------------	---

〔目標指標・数値〕若年層の向け学科教習教材(DONDONドライブ)の導入、学科教習での継続使用

計画どおり運用しており、教習生のアンケートも良好な状況です。また、次年度にオンライン教習が実施できるよう、担当者(指導員)や日程等について検討します。

### <経常的教育活動>

#### 北海道科学大学(7件)

1	<b>ティーチング・ポートフォリオ活用の推進 【FD(ファカルティ・デベロップメント)委員会】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	---	------------	---

2019年度から毎年、TS作成ワークショップを開催し続け、2021年度は、2022年3月10日に実施したことで、ほぼ全教員が作成したことになりました。TS活用方法についての全学FD・SD講演会は、外部講師を想定していましたが、日程の調整が合わず、2022年度に開催することになりました。活用方法及びTP作成については、再度FD委員会内で周知しています。

2	<b>遠隔・対面ハイブリッド型授業実施のための教室設備導入 【学生支援センター】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	--	------------	---

前期始講に間に合うようにG棟4階の4教室に、3種類のハイブリッド型授業が実施できる設備を導入し、今年度前期は4学科10科目で活用されました。操作にはある程度の慣れが必要であるため、わかりやすい操作マニュアルを整備しました。また、「ハイフレックス型授業(同じ授業の内容を、対面とオンラインで同時に行う授業方法)」のみ実現できる簡便な設備をA棟1階の1教室に導入しました。さらに、後期からはA棟3階の4教室、G棟3階の4教室にそれぞれハイブリッド型授業及び教室間連携授業設備をより使いやすい形で導入し、対面授業の実施率上昇に貢献しました。

3	<b>学科の実情に合わせたキャリア教育の実現 【就職支援センター】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	---	------------	---

薬学部・保健医療学部については、ビジネススキルを実施していないため、各学科の時期に合わせてガイダンスや各種対策講座を実施しました。未来デザイン学部については、多様な就職先に対応するため、就職課による個別指導制度を実施しました。また、就職活動をスタートできない学生対象に、就職Reスタート講座も数回実施することで、新型コロナウイルス感染症が流行する前の2019年度と同じ水準の内定率を維持できました。

4	<b>北海道科学大学高校との高大連携強化 【入試広報センター】</b>	<b>達成度</b>	○
---	---	------------	---

北科大高校2年生の正課授業「総合的な探求の時間」は、コロナ及び雪害の影響により予定変更は生じましたが完了し、次年度についても同じコマで実施予定です。また、系列校推薦については、入学前教育として、高校3年生の合格者向けにセンター長による特別スクーリング、学科別大学授業見学を実施し、参加者レポートで一定の成果があったことを確認しました。また、eラーニング教材について高大で指導し、完了率97%となり、目標の80%を達成しました。

5	<b>高等学校への新たな訪問戦略・募集対策の立案 【入試広報センター】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	---	------------	---

今年度の高校訪問は対象校92校へ各2回、12月に一般選抜対策として30校、義肢装具学科の募集対策として4校、3月に医療系学科募集対策兼オープンキャンパスの告知として30校、延べ248校の高校へ訪問しました。特に、追加で訪問した12月は推薦系入試のフィードバック、3月は高校別に制作したパンフレットの配布という明確な目的を持ち、高校の満足度という点で手応えがありました。他にも高校教員を対象とした情報メールを定期配信、一般選抜の過去データの解説動画の配信など様々な手法でコミュニケーションを図り、着実に高校との関係を構築することができています。



高校別パンフレット

6	<b>マーケティングシステムの見直し 【入試広報センター】</b>	<b>達成度</b>	○
---	---------------------------------------	------------	---

新規導入したマーケティングプラットフォームについて、2021年度受験生向け運用が終了し、分析データを取りまとめています。

今後は分析に基づき、セグメントによる情報発信の検討及び実施、一括発送対象者の精査や件数削減を行い、質の向上とコスト削減を図ります。また、並行して現2年生以下接触者については学部・学科に関する魅力を訴求する内容を配信し、スコアリング(行動履歴・興味度による志望度の見える化)データの取得を進めています。

7	<b>学生募集イベントの整理・統合 【入試広報センター】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	--------------------------------------	------------	---

2021年度はオープンキャンパスを3回(7・10・3月)、学科別のミニオープンキャンパスを2回(6・9月)と計5回のイベントを開催しました。

2022年度のオープンキャンパスは、動員目標を4000名とし、集客効果の高い夏休みを重点に、4回に拡大(7月(2日間)、10月、3月)し、学科別オープンキャンパスは、早期来場希望者に応えるための5月実施のみとし、NETオープンキャンパスについては2回(6・9月)に配信し、それぞれ1ヶ月後に開催するオープンキャンパスへ動員促進を図るためのオンラインイベントとして実施します。

## 【Ⅱ. 研究活動活性化】

### <戦略事業>

北海道科学大学(3件)

1	<b>新研究所(CRILS)の立ち上げと研究成果の永続的な創出・発信</b> 【研究推進・地域連携センター】	達成度	◎
---	---	-----	---

〔目標指標・数値〕学会発表:年5回 論文掲載:年5報

研究活動の進捗としては、学会発表14件、学術論文掲載8報、招待講演など社会活動5件、共同研究契約など産学官連携3件、技術移転イベント出展1件、その他の著作物・学内研究発表など4件、作品3件、外部資金獲得7件という実績を積み上げました。産学連携として、共同研究を行っている企業に、キハダ果実含有のど飴の開発協力をし、5月に市販されました。



キハダ果実含有のど飴「MINAMINA」

2	<b>道内私大トップを目指す科研費獲得ロード</b> 【研究推進・地域連携センター】	達成度	◎
---	---	-----	---

〔目標指標・数値〕科研費総採択件数:120件

科学研究費助成事業(科研費)の2021年度新規採択数が道内私大No.1となりました。また、総採択数79件、次年度申請数103件となり、目標に近い実績となりました。なお、科研費申請書添削業務の外部委託(略称:カケンオルグ)の利用は、全教員を支援対象者として登録し利用を促しましたが、結果は61件の利用となり、昨年より利用者が少ない状況となりました。次年度以降は、更なる学内周知を行い、レビュー回数増加を促したいと考えています。

3	<b>補助金連動型アライアンス強化</b> 【研究推進・地域連携センター】	達成度	△
---	--	-----	---

〔目標指標・数値〕100周年までに12本の成果+4件の研究遂行中

特別奨励研究費に採択された3件の課題のうち、2件の課題で合計3件の共同研究契約を締結しており、残り1件も締結予定でしたが、共同研究先との調整が停滞したことで、目標の4件には到達していません。また、特別奨励研究費の枠組みを本事業に取り込んだことにより、補助金獲得に向けた加点要素とはなっておりますが、特別奨励研究費を財源とすることが可能となったため、本事業における戦略事業としての次年度以降の実施については、検討が必要と考えております。

<経常的教育活動>

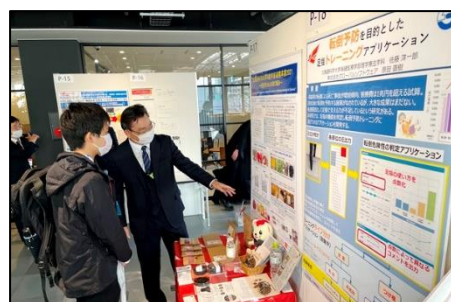
北海道科学大学(2件)

1	<b>産学連携強化に向けた技術移転イベントの促進</b> <b>【研究推進・地域連携センター】</b>	<b>達成度</b> ◎
---	--	--------------

年間をとおしてオンライン開催を含めた多くの技術移転イベントに参加し、産学連携強化を図るべく、精力的に活動しました。中でも、BioJapan2021では臨床工学科より教員2名が出展、ビジネスEXPO2021では2日間合計で300名以上のブース訪問を受け、多くの方へ本学の研究活動をPRする機会となりました。超異分野学会北海道フォーラム2021については、北海道では初めての開催となる超異分野学会にCRILSと理学療法学科の教員が異分野間の連携を目指し出展しました。



BioJapan2021



超異分野学会北海道フォーラム2021

2	<b>学際領域研究の活性化</b> <b>【研究推進・地域連携センター】</b>	<b>達成度</b> ◎
---	---	--------------

2022 年度特別奨励研究費の公募要領について7月 30 日より公募を開始し、個人・グループ研究促進型8件の応募から2件、産学官連携研究促進型4件の応募から1件を採択しました。また、2021 年度は個人・グループ研究促進型4件、産学官連携研究促進型3件の計7件を採択し、産学官連携研究促進型3件の共同研究が実現しております。

また、学内へ研究内容を発信するイベントとして以下の日程で「HUS 学術研究交流会」をオンラインにて開催しております。第3四半期で2回、第4四半期で1回の開催となりましたが、毎回 80 名前後の参加があり、活発な意見交換もされました。次年度は計6回の開催を予定しており、学内における研究発表の機会として定着させていく予定です。

### 【Ⅲ. 社会貢献】

#### <戦略事業>

北海道科学大学(3件)

1	<b>地域医療への貢献を目指した道内地方都市における実務実習の推進 【薬学部実務実習委員会】</b>	<b>達成度</b>	◎
---	--	------------	---

〔目標指標・数値〕プログラムを受けた学生の30%以上が地域医療に関わる

道内3地区で実施する地域医療実習プログラム及び地域を知るプログラムが決定しました。各地区にて最終打ち合わせを行い、プログラムの詳細確定、プログラム実施のための宿泊施設の準備を行いました。今後は、学生の意識調査のためのインタビュー内容を確定し、5月からのプログラム開始前までに事前インタビュー調査を行います。

2	<b>看護実践・教育・研究に関するユニフィケーション事業 【保健医療学部 看護学科】</b>	<b>達成度</b>	○
---	--	------------	---

〔目標指標・数値〕本学教員による教育・研修会の定期的開催年2回

北海道内の病院施設及び介護福祉施設736施設に研修ニーズの調査を実施した結果、180件の回答が得られ、分析を行っています。また、本学とユニフィケーションの可能性に関するインタビューに同意が得られた施設は9施設あり、今後は、この9施設にインタビューを実施する予定です。このインタビューから得られた内容から、具体的な研修内容を検討し、開催を計画する予定です。

3	<b>「自由研究といえば北科大」を目指す ～科学やものづくりの楽しさを伝え、未来の科学者を育てるイベント特化事業～ 【研究推進・地域連携センター】</b>	<b>達成度</b>	○
---	---	------------	---

〔目標指標・数値〕大学で実施するイベントにおける各時期の5年間の参加者計700名

ニューノーマル時代において、開催目標を「大人数を集め圧倒し、記憶に残す」から、「会期を分散させ継続的に集客し、持続的に記憶に残す」に変更することで、目標達成を目指しました。成果として、外部資金「ひらめき☆ときめきサイエンス」において、2021年度は日本一の採択件数を獲得したこと、また、会期分散に伴い、手稲区・西区地域の小中学校に継続的に案内のチラシを送付することで、本学の周知向上に寄与したことがあげられます。採択の倍増に伴い、業務を外部委託することで業務体制を確立でき、次年度からはより効果的な事業の実施を目指します。

#### <経常的教育活動>

北海道科学大学(5件)

1	<b>私立大学研究ブランディング事業の活動報告 【広報委員会】</b>	<b>達成度</b>	×
---	---	------------	---

当初計画していた道新ホール集客での開催は、新型コロナウイルス感染症の影響により、人を集めての開催が困難であるため、新聞記事広告企画に変更して立案しましたが、時期を逸したこと、また、研究所の紹介に対する経費支出の効果等について各種委員会で検討した結果、企画として成立することが困難であると判断し、中止いたしました。

2	<b>地域企業との連携強化の実現 【就職支援センター】</b>	達成度	◎
---	-------------------------------------	-----	---

道内7都市の同窓会支部、中小企業家同友会道内支部及び企業等を訪問し、大学の状況、地域企業の採用状況等の情報交換及び求人依頼を行いました。その結果、各地域の団体・企業と関係を構築することができました。また、訪問後、中小企業家同友会とかち支部の求人委員会に参加依頼があり、今後の連携事業を計画しています。

3	<b>コロナ禍における大学見学・出前授業の実施 【入試広報センター】</b>	達成度	◎
---	--	-----	---

オンラインで実施できる授業一覧を高校に配付し、間口を広げています。また、大学見学は感染対策を行い、短時間及び大教室の使用等で実施しています。出前授業では高校側がリモートでの授業に慣れ始めている様子が見受けられ、早期からリモート対応が可能であることをアピールしていた本学に依頼が来ていると思われまます。

4	<b>公開講座の充実 【研究推進・地域連携センター】</b>	達成度	◎
---	------------------------------------	-----	---

学内での公開講座は感染対策を行って少しずつ開催し始めています。学外では紀伊国屋でまちかどキャンパスを開催しており、開催内容を収録しオンライン配信しています。2月26日には、ウポポイで初の公開講座を開催し多くの方に参加いただきました。また、まん延防止等重点措置の影響で中止となった、学生主体で行う帯広でのまちかどキャンパスは、2022年度に開催をしたいと考えています。また、昨年度に引き続き、NET公開講座どこでもキャンパスを開催しています。



まちかどキャンパス2021



NET公開講座  
「どこでもキャンパス」  
はこちらのQRから  
ご視聴いただけます。

5	<b>薬剤師生涯教育の遠隔受講推進 【薬剤師生涯学習センター】</b>	達成度	◎
---	---	-----	---

卒業生、過年度受講生に講座開催案内のメールを送信、パンフレットは全国の卒業生に配付し、各講座をオンラインで開催しました。多くの方が参加し、アンケートでは、オンラインによって会場に集まらなくてよいことや、講座によっては1カ月間の視聴が可能であることから時間が制約されないことが大変評価されており、次年度も継続して欲しいとの要望が届いています。

#### 【IV. 経営強化】

##### <戦略事業>

##### 学校法人北海道科学大学(1件)

1	安定かつ多様な収入確保 100%出資会社の設立と運用 【事務局 財務部】	達成度	◎
---	---	-----	---

##### 〔目標指標・数値〕更なる業務展開の検証、実施、学校法人への寄付金400万円

2022年1月末現在、累積経常利益が約1千万円あり、5月31日の決算時も黒字化を見込んでいます。また、戦略的な収益増加に向けて、2022年4月からは大学公式グッズの取扱い、2023年度から大学生への保険販売を計画しています。学校法人に対しての寄付金額・時期については、税理士と打合せて適正に進めています。

##### 北海道科学大学(2件)

1	前田キャンパスネットワークの環境維持 【学術情報センター】	達成度	◎
---	----------------------------------	-----	---

##### 〔目標指標・数値〕毎年8月一斉休業期間での機器更新を実施・完了

7月27日に更新用機器の搬入、事前準備による各種設定及び調整等を行い、予定していたとおり8月7日～11日の期間で機器更新を実施しています。

2021年8月26日に検収を実施し、2021年度の前田キャンパスネットワークの環境維持は完了しました。

2	教職員の健康維持・増進プロジェクト 【保健管理センター】	達成度	△
---	---------------------------------	-----	---

##### 〔目標指標・数値〕受診率の向上、有病率の低下、医療補助費の削減

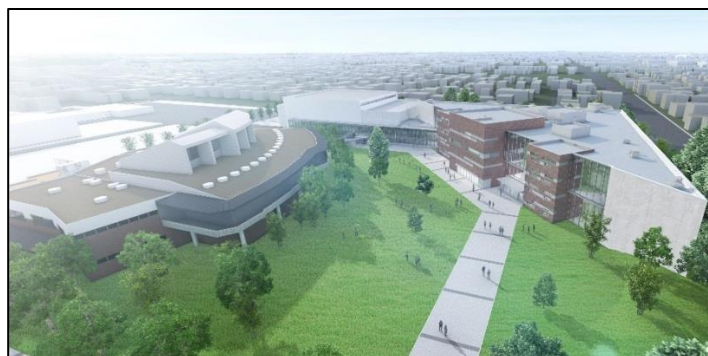
新型コロナウイルス感染症拡大における対応により、事業計画に関する医務室での立案等ができていない状況にありました。そのため、事業計画としての本事業実施は見送り、保健管理センターの定型業務の中で継続して健康増進プログラムの策定することを検討しています。

##### 北海道科学大学高等学校(5件)

1	前田キャンパス新校舎建築	達成度	◎
---	--------------	-----	---

##### 〔目標指標・数値〕2022年度竣工

校内ネットワークシステムの構築については、2022年度に始まる設備備品等の購入、引き渡し後の移転作業については、高校内関係部署との調整を進めています。また、法人と高校で、新校地グラウンド改修工事についての打合せ・調整を行っています。



北海道科学大学高等学校新校舎イメージ

2	校舎移転広報計画	達成度	○
---	----------	-----	---

**〔目標指標・数値〕北海道科学大学高等学校移転の認知と定員確保**

入試広報部が実施する「学習塾対象説明会」、「中学校教員対象説明会」、「学校見学会」、「中学校訪問」において、各種パンフレット及び説明資料等を利用して、2023年度前田キャンパス移転に関する告知、高大一体教育(コンカレント・プログラム)等について広報活動を展開しました。

また、新型コロナウイルス拡大防止措置により制限された広報活動を補うため、各種SNS(LINE、Twitter、Facebook、Instaglam)を利用した学校のトピックス及びイベント、課外活動の成果等の情報発信を継続して行いました。

3	系列大学の魅力発信	達成度	○
---	-----------	-----	---

**〔目標指標・数値〕高大連携、イベント等で100名に発信**

11月25日に工学部・未来デザイン学部「掘り起こし」のためのイベントを企画し、約40名の参加者を集め、学部ガイダンス、研究施設訪問を実施しました。これに義肢装具学科も参加したことで、この企画の参加生徒の中から22名が工学部、未来デザイン学部、義肢装具学科を希望し、探究活動(発展)の参加を表明しました。また、1年生を対象に3月16、17日に高大連携模擬講義を実施し、大学と連携した工学部ツアーを4月中に企画し提案していきます。

4	新学習指導要領に基づく教育課程の編成	達成度	◎
---	--------------------	-----	---

**〔目標指標・数値〕2021年度新教育課程の完成**

コース別の教育課程が完成し、新たに系列大コースを新設、各コースの特徴を明確にしました。半期履修と単位認定については、3年生での実施を確定し、1・2年生については、教育課程が完成する2024年度に向けて検討します。また、大学と共同で、「HUSコンカレントプログラム検討プロジェクト」を始動し、目的の共有及び細部の確認作業を行っています。放課後学習(課外学習)「尚志塾」の充実に向けて、3学年を縦割りした意識共有を図る予定であり、支援ツールの導入を検討しています。土曜講習や放課後講習の計画をより組織的にいき、進学指導体制を充実させる体制づくりを固めます。

5	ICT 環境整備	達成度	◎
---	----------	-----	---

**〔目標指標・数値〕2021年度ICT環境整備完成**

4月4日にプロジェクト及びLAN設置工事が終了し、使用教室すべてに設置しました。

**北海道自動車学校(2件)**

1	自動車学校の将来像の設定	達成度	△
---	--------------	-----	---

**〔目標指標・数値〕高等学校の移転による入校生減少施策の検討と財務状況の改善**

法人との検討を進める計画でしたが、より良い事業推進を図るため、本事業は2021年度をもって廃止とし、今後の計画を再検討していく予定です。



2	<b>送迎バス位置情報システム導入</b>	<b>達成度</b>	◎
---	-----------------------	------------	---

**〔目標指標・数値〕送迎バス位置情報システム導入、継続使用**

送迎バスのGPSシステム導入を完了しており、教習を予約制としていることから、教習生と事務職員の相互連絡にて、降雪等による渋滞の遅れ等においてスキップできる停車所の連絡が可能となり、サービス向上が図られてきています。

今後は、継続運用することで予約情報等における管理の徹底や、誤乗車等をなくすることで、更なるサービス向上を図っていきます。

**<経常的教育活動>**

**学校法人北海道科学大学(4件)**

1	<b>人事・給与制度改革の推進</b> <b>【事務局 教職員課】</b>	<b>達成度</b>	○
---	--	------------	---

政府が進める「働き方改革」、「仕事と子育ての両立」、「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」に対応すべく、長時間勤務削減の検討や時差出勤体制を見直しなどの多様な働き方の創設、有期雇用の不合理な待遇差解消に向けた制度の見直し、通勤手当の見直し、北海道自動車学校職員就業規則等の制定を行いました。

2	<b>寄付金募集事業の拡大</b> <b>【事務局 財務部】</b>	<b>達成度</b>	○
---	---------------------------------------	------------	---

学内合同業界研究会の受付で趣意書30部を配付、さらに就職先である薬局の代表者100件へ郵送にて募集案内を行いました。また、地域連携・広報課から父母への広報誌の送付時に募集を行い、更なる獲得を目指します。2月には顕彰制度を制定したため、2022年度始めに高額寄付者への称号と銘板への芳名を行うほか、感謝の集いを開催し、学生の声を伝えていく計画です。

また、「創立100周年記念事業寄付金」の返礼品として、大学グッズや連携協定先の名産品、本学と企業の共同研究にて誕生した商品を用意し、案内をしていく予定です。



銘板イメージ

3	<b>資産運用の意思決定と執行管理の推進</b> <b>【事務局 財務部】</b>	<b>達成度</b>	○
---	--	------------	---

低金利が継続する中、2021年度資金運用計画に基づき、低リスクで安定した債券等への運用を実施してきました。結果、資金運用計画(収益目標等)においては、達成する予定にあります。購入債券及び保有債券のリスク管理においても、決算報告書(四半期決算報告含)等による格付低下及びリスク要因を検証しており、引続きPDCA等による管理を徹底した資金運用を実施していきます。

4	<b>財務指標に基づく予算管理</b> <b>【事務局 財務部】</b>	<b>達成度</b>	○
---	---	------------	---

目標となる財務指標を達成するため、前田キャンパスの2022年度予算編成では、新たな予算区分として「義務的予算」と「裁量予算」の設定及びプロジェクト別予算を導入しました。各部局の適正な予算規模を把握するとともに、投下した予算の適正性・効率性を検証し、戦略的かつ効率的な予算管理体制の強化を図ります。

## 【V. ブランド推進】

### <戦略事業>

北海道科学大学(4件)

1	HUS pedia 作成プロジェクト 【工学部 電気電子工学科】	達成度	○
---	-------------------------------------	-----	---

〔目標指標・数値〕企業への取材25件(前年含)、冊子100冊作成

取材における設問事項は関係部署と吟味し、また、取材データは本学HPの改修に合わせて掲載をしたいため、協力会社への対応及び取材データ掲載の了承を卒業生に取ることで進めます。取材対象の卒業生について、2021年度は電気電子工学科から工学部全体とし、4学科8名に取材を行いました。2022年度からは全学部への拡大を計画し、事業を拡大します。

それを踏まえて、2022年度は事業の主体を電気電子工学科から校友課に移すことを検討します。

2	インフラ映えフォトコンテスト開催による認知度向上 【工学科 都市環境学科】	達成度	◎
---	--	-----	---

〔目標指標・数値〕入学生の認知度:50%

2021年12月～2022年2月にかけてコンテストを実施し、142作品の応募数を得ました。また、学外機関との連携として(公社)日本技術士会北海道本部社会活動委員会技術者のミライ研究委員会の協力を得たことで、特に広報面での強化ができたと考えます。また、外部機関より審査員として13名のご参加をいただき、コンテストの質の高さを実感いただけました。今後は、更なる協力関係を構築し、単なるコンテストの実施に留まらず、コンテストの成果を活用することで、学科広報及び土木(インフラ)技術への関心の醸成に繋がる活動を企画したいと考えています。



インフラ映えフォトコンテスト

3	同窓生との連携強化 【事務局 校友課】	達成度	○
---	------------------------	-----	---

〔目標指標・数値〕総会参加数増加のための対策の実施、イベント、サービス等の実施

アンケートの回収及び集計を行いました。2022年度はその集計結果をもとに、関係部署と施策の検討(課題調査や分析)を行います。

4	ホームページ全面リニューアルによる大学知名度及び利便性の向上 【入試広報センター】	達成度	○
---	--	-----	---

〔目標指標・数値〕2022年ホームページ公開

予定どおり開発が進み、4月1日より新しいホームページを公開しました。しかし、一部コンテンツは引き続き開発を進めており、旧ホームページから情報発信することで4月以降の公開に対応します。

<経常的教育活動>

学校法人北海道科学大学(2件)

1	法人創設 100 周年に向けたブランド力の浸透 【100 周年記念実行委員会】	達成度	○
---	--	-----	---

2023年4月にオープンする100周年記念会館及び高校移転に関しては、セレモニー等、関係企業による準備計画に入っています。四季のイベントは本年度の事業を終え、同記念事業の寄付金受入状況と今後の課題について情報共有ができました。また、仮称100周年記念会館が正式に「100周年記念会館」となり、ステークホルダーボードの実施については、まん延防止等重点措置の関係で計画の3分の1しか達成できませんでした。

四季のイベントでは「ていね夏あかり」、「手稲山の日」、「HUSキャンパスイルミネーション」を開催し、「T型フォード」については試験走行が成功しており、今後は「B型フォード」の稼働を計画しています。

100周年の意識浸透のためメインプロムナードにフラッグを設置し、冬季はHITプラザに掲げています。

2	ホームカミングデーの充実 2021 年度【恩師との再会】 【事務局 校友課(総務部)】	達成度	◎
---	--	-----	---

11月28日にオンライン形式にて実施し、盛会裏に終了しました。2021年度開催テーマである「恩師との再会」については「再会ビデオレター」として実施し、現在はアーカイブの視聴数増加に努めています。案内対象者は当初、大学、短大部、電子専門学校の卒業生としていましたが、高校が前田キャンパスに移転となる2023年からの案内を予定していた高校の卒業生を含め、本法人の全同窓生に案内をしました。

北海道科学大学(3件)

1	札幌駅地下歩行空間広告掲出 【広報委員会】	達成度	◎
---	--------------------------	-----	---

札幌駅地下歩行空間への掲出は、抽選により満枠となったため、新千歳空港及び札幌駅改札内プレミアムボードに、社会へのアピールを込めた内容で、キービジュアル「教育に情熱を」を掲出しました。また、手稲駅、旭川駅、函館駅、地下鉄札幌駅及び福住駅に「教育に情熱を」をキービジュアルとして高次教育を表現した広告を掲出しました。

2	広報誌 NEWSLETTER の発行 【入試広報センター】	達成度	◎
---	----------------------------------	-----	---

第1回は8月に発行し、学生生活、卒業生の活躍、大学の活動及び100周年記念関係を掲載しました。第2回は11月に発行し、東京オリンピックボランティア、在学生・卒業生の活躍、ひらめき☆ときめきサイエンス及び100周年記念関係を掲載しました。第3回は3月に発行し、100周年、卒業生(寄付者)訪問、学生生活及び短大部閉学を掲載しました。学生、卒業生、教職員の協力により大学の活動が読んだ方に伝わるような内容となっています。

3	各種広告媒体のデザイン統一化-キービジュアルの開発・展開- 【入試広報センター】	達成度	◎
---	---	-----	---

TVCM、SNS・Web広告、ポスター・フライヤー、交通広告など様々なメディアでブランディングを展開しており、ホームページ、入学案内など基幹メディアでもキービジュアルを使用し浸透を図っています。また、「教育に情熱を」をユーザーへ具体的に感じさせる発信を今後は充実させる予定です。



地下鉄広告「高大一体の広報展開に向けたキービジュアル」

#### (4) 施設設備計画

##### ① 施設計画

工 事 名
<p>&lt;北海道科学大学&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>薬草園移設工事</b> (2021年10月完了) キャンパス再整備計画に基づく倉庫、花壇、植栽、薬草移設工事</li><li>・<b>HITプラザ改修工事</b> (2021年12月完了) 老朽化に伴う設備の更新工事</li><li>・<b>A棟教室改修工事</b> (2021年4月完了) 学習環境整備のための内装改修工事</li><li>・<b>実験動物舎ドラフトチャンバー設置工事</b> (2022年3月完了) 作業環境整備のためのドラフトチャンバー用ダクト・給排気ファン工事</li><li>・<b>D棟外構工事</b> (2021年6月完了) キャンパス再整備計画に基づくD棟外構整備工事</li></ul>
<p>&lt;北海道科学大学高等学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>無線 LAN 追加工事</b> (2021年4月完了) ICT教育導入に伴う学習環境の整備工事</li><li>・<b>高校校舎新築工事</b> (2020年8月着工 2022年10月竣工予定) 高校校舎前田キャンパス移転に伴う校舎(RC造地上4階)、 体育館(RC造地上2階)ミニグラウンド造成、外構工事</li></ul>
<p>&lt;北海道自動車学校&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・<b>場内教習コース照明更新工事</b> (2021年8月完了) 支柱劣化による倒壊等の未然防止対策として更新 省エネ対策として水銀灯をLED照明へ交換</li></ul>

## ②設備計画

### ア 教育研究用機器備品

各設置校における教育研究充実のため、機器の更新並びに機器備品を購入しました。

購入数量	546 点
------	-------

※購入品目のうち、主なものは以下のとおりです。

件 名	
<b>&lt;北海道科学大学&gt;</b>	
・インパルス電圧発生装置	1 点
小型のインパルス発生装置、分圧器・カレントモニター・オシロスコープを用いることで試料が閃絡したかの検出が可能	
・個人透析用水作製装置	1 点
透析用透析液の水処理に使用、様々な洗浄・消毒方法に対応しており、水処理装置の稼働が実現すると臨床現場の再現が可能	
・リアルタイムPCRシステム	1 点
オンライン上でリモートコントロールが可能、最短 30 分以内で実験時間終了が可能	
<b>&lt;北海道科学大学高等学校&gt;</b>	
・プロジェクタ	10 点
タブレット等を使用し、各教科の教材等を利用	
・給電スイッチ	1 点
校内ネットワーク増設	

### イ 管理用機器備品

各設置校、法人の機器の更新及び管理用備品を購入しました。

購入数量	3 点
------	-----

### ウ 図書等

各設置校の図書などを下記のとおり購入しました。

設置校名	図書	学術雑誌	電子ジャーナル	データベース	視聴覚関係
北海道科学大学	1,590	147	5,530	9	30
北海道科学大学短期大学部	71	4	0	1	0
北海道科学大学高等学校	321	0	0	0	0

## (5) 設置校等の廃止

### ① 北海道科学大学短期大学部の廃止

北海道科学大学短期大学は北海道自動車短期大学として1953年に開学し、地域における自動車技術分野の高等教育機関として大きな役割を果たしてきました。近年では様々な施策を実施してきましたが将来的な入学者確保の見通しが立たないことから、本年度をもって廃止することとしました。

### ② 北海道科学大学高等学校工学科の廃止

北海道科学大学高等学校工学科は、1956年に北海道工業高校自動車科、工業経営科としてスタートし地域の工業人材を長年輩出してきました。しかしながら、近年の中学校卒業生における工学科志願者の著しい減少により厳しい生徒募集の中、将来的な入学者確保の見通しが立たないことから、本年度をもって廃止することとしました。

### ③ 北海道科学大学自動車学校自動車整備士養成施設認証事業の廃止

北海道科学大学短期大学部及び北海道科学大学高等学校工学科の廃止に伴い、自動車整備士養成施設等の廃止手続きを行うことから需要のない北海道自動車学校においても同様の手続きを行うこととしました。



## Ⅲ. 財務の概要

### 1. 決算の概要

#### (1) 貸借対照表関係

##### ① 貸借対照表の状況と経年比較

2021年度末の資産の部は、HITプラザ改修工事、D棟外構工事に伴い増加しました。一方、負債の部は、市中銀行からの借入金により増加しました。

その結果、純資産の部は、前年度比△1,575,754千円の39,062,887千円となりました。

(単位:千円)

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
固定資産	43,837,990	44,120,486	43,384,512	43,486,770	44,515,360
有形固定資産	28,685,437	28,522,344	28,247,057	28,555,816	28,554,090
特定資産	14,972,810	15,423,300	14,964,873	14,749,711	15,786,332
その他の固定資産	179,743	174,843	172,583	181,243	174,937
流動資産	3,456,486	3,459,056	3,414,317	2,357,348	2,550,232
資産の部合計	47,294,476	47,579,542	46,798,828	45,844,118	47,065,592
固定負債	5,428,000	5,074,426	4,717,604	3,863,470	6,221,870
流動負債	1,625,368	1,738,563	1,730,827	1,342,007	1,780,835
負債の部合計	7,053,368	6,812,989	6,448,431	5,205,477	8,002,704
基本金	45,060,617	45,259,369	45,395,054	47,818,755	47,098,784
繰越収支差額	△4,819,510	△4,492,815	△5,044,657	△7,180,115	△8,035,896
純資産の部合計	40,241,108	40,766,554	40,350,397	40,638,641	39,062,887
負債及び純資産の部合計	47,294,476	47,579,542	46,798,828	45,844,118	47,065,592

##### ② 財務比率の経年比較

財務比率	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
<b>固定比率</b>					
固定資産 純資産	108.9 %	108.2 %	107.5 %	107.0 %	114.0 %
<b>運用資産余裕比率</b>					
運用資産－外部負債 経常支出	1.6 年	1.7 年	1.7 年	1.7 年	1.4 年
<b>特定資産構成比率</b>					
特定資産 総資産	31.7 %	32.4 %	32.0 %	32.2 %	33.5 %
<b>流動比率</b>					
流動資産 流動負債	212.7 %	199.0 %	197.3 %	175.7 %	143.2 %
<b>積立率</b>					
運用資産 要積立額	88.0 %	86.6 %	87.4 %	74.8 %	76.0 %

## (2) 資金収支計算書関係

### ① 資金収支計算書の状況と経年比較

2021年度の収入の部は、短大部の学生募集停止に伴い学生生徒等納付金収入及び補助金収入が減少し、退職金財団交付金収入の増加に伴い雑収入が増加しました。

2021年度の支出の部は、人件費支出が、短大部の閉学及び自校教員の退職に伴い、前年比438,332千円増の5,163,072千円となりました。また、教育研究経費支出は、3・4号館解体工事及びD棟外構解体工事、教育系基幹システム更新に伴い、前年比369,305千円増の2,808,963千円となりました。

(単位:千円)

収入の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
学生生徒等納付金収入	7,803,038	7,628,372	7,517,294	7,580,694	7,432,546
手数料収入	95,725	105,286	111,516	98,833	101,221
寄付金収入	80,325	25,656	48,840	72,437	67,862
補助金収入	1,132,966	1,183,987	1,062,206	1,336,956	1,255,284
資産売却収入	48,747	835,000	620,000	43,506	78
付随事業・収益事業収入	39,518	36,598	31,081	25,051	24,090
受取利息・配当金収入	65,919	50,176	41,970	59,315	69,711
雑収入	341,200	381,543	381,156	281,808	432,421
借入金等収入	0	0	0	0	3,000,000
前受金収入	982,787	1,063,437	1,041,590	921,216	1,017,905
その他の収入	1,599,877	3,118,182	5,711,694	8,484,885	7,514,866
資金収入調整勘定	△1,196,644	△1,311,025	△1,374,021	△1,301,072	△1,361,018
前年度繰越支払資金	3,201,412	3,092,539	3,089,235	3,079,903	2,065,370
収入の部合計	14,194,869	16,209,752	18,282,560	20,683,530	21,620,337

支出の部	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
人件費支出	4,868,980	4,905,097	4,857,648	4,724,740	5,163,072
教育研究経費支出	2,359,392	2,249,283	2,421,408	2,439,658	2,808,963
管理経費支出	928,230	793,273	778,507	622,583	620,080
借入金等利息支出	11,211	11,095	13,182	11,320	12,560
借入金等返済支出	283,390	327,850	327,770	1,077,770	302,770
施設関係支出	1,710,526	1,407,375	1,730,794	1,539,177	2,217,038
設備関係支出	299,754	214,170	180,000	208,656	169,365
資産運用支出	630,548	3,226,922	4,899,476	7,965,348	8,235,420
その他の支出	188,964	178,978	181,130	206,559	180,080
資金支出調整勘定	△178,664	△193,527	△187,258	△177,651	△173,182
翌年度繰越支払資金	3,092,539	3,089,235	3,079,903	2,065,370	2,084,170
支出の部合計	14,194,869	16,209,752	18,282,560	20,683,530	21,620,337

## ②活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

2021年度の教育活動による資金収支差額は、617,491千円、施設整備等活動による資金収支差額は、△3,516,149千円、その他の活動による資金収支差額は、2,917,458千円となり、翌年度繰越支払資金は、前年度から18,800千円増の2,084,170千円となりました。

(教育活動による資金収支)

(単位:千円)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動資金収入計	9,433,164	9,341,681	9,147,092	9,395,779	9,296,203
教育活動資金支出計	8,156,602	7,947,653	8,057,563	7,786,981	8,592,116
差引	1,276,562	1,394,027	1,089,529	1,608,798	704,087
調整勘定等	△29,246	100,417	△9,708	△56,563	△86,596
教育活動資金収支差額	1,247,316	1,494,444	1,079,821	1,552,235	617,491

(施設整備等活動による資金収支)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
施設整備等活動資金収入計	989,799	3,121,424	5,769,960	6,878,506	6,704,547
施設整備等活動資金支出計	2,340,279	4,324,982	6,580,794	8,395,052	10,218,096
差引	△1,350,480	△1,203,558	△810,834	△1,516,546	△3,513,549
調整勘定等	110,197	△12,362	7,162	△2,600	△2,600
施設整備等活動資金収支差額	△1,240,283	△1,215,920	△803,672	△1,519,146	△3,516,149

(その他の活動による資金収支)

科目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
その他の活動資金収入計	501,058	581,529	283,520	1,399,291	3,636,423
その他の活動資金支出計	613,949	862,445	574,221	2,438,141	719,057
差引	△112,892	△280,916	△290,701	△1,038,850	2,917,366
調整勘定等	△3,014	△912	5,219	△8,771	92
その他の活動資金収支差額	△115,906	△281,827	△285,481	△1,047,621	2,917,458

支払資金の増減額	△108,873	△3,303	△9,333	△1,014,533	18,800
前年度繰越支払資金	3,201,412	3,092,539	3,089,235	3,079,903	2,065,370
翌年度繰越支払資金	3,092,539	3,089,235	3,079,903	2,065,370	2,084,170

## ③財務比率の経年比較

財務比率	年度				
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
教育活動資金収支差額比率					
$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	13.2 %	16.0 %	11.8 %	16.5 %	6.6 %

### (3) 事業活動収支計算書関係

#### ① 事業活動収支計算書の状況と経年比較

2021 年度事業活動収入は、短大部の学生募集停止に伴い学生生徒等納付金及び補助金が減少し、退職金財団交付金収入の増加に伴い雑収入が増加しました。

2021 年度事業活動支出は、人件費が、短大部の閉学及び自校教員の退職に伴い、前年比 425,133 千円増の 5,125,758 千円となりました。また、教育研究経費は、3・4号館解体工事及び D棟外構解体工事、教育系基幹システム更新に伴い、前年比 403,177 千円増の 4,097,833 千円となりました。

その結果、基本金組入前当年度収支差額は、前年度比 1,287,509 千円減の 1,575,753 千円となり、事業活動収支差額比率は、前年度比 19.7 ポイントマイナスの 16.7%となりました。

(単位:千円)

科 目		2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	
教 育 活 動	収入の部	学生生徒等納付金	7,803,038	7,628,372	7,517,294	7,580,694	7,432,546
		手数料	95,725	105,286	111,516	98,833	101,221
		寄付金	59,533	25,887	48,840	77,400	50,763
		経常費等補助金	1,105,216	1,174,225	1,062,206	1,336,956	1,255,284
		付随事業収入	29,518	26,598	26,081	25,051	24,090
		雑収入	343,453	381,938	379,891	282,440	431,444
		教育活動収入計	9,436,483	9,342,306	9,145,827	9,401,373	9,295,349
	支出の部	人件費	4,806,963	4,881,893	4,831,240	4,700,625	5,125,758
		教育研究経費	3,499,962	3,434,016	3,642,209	3,694,656	4,097,833
		(内、減価償却額)	1,139,504	1,184,501	1,220,801	1,250,036	1,288,746
		管理経費	1,071,969	947,403	930,203	774,363	773,225
		(内、減価償却額)	143,739	154,130	151,696	151,780	153,145
		教育活動支出計	9,378,894	9,263,312	9,403,652	9,169,644	9,996,816
		教育活動収支差額	57,590	78,995	△257,825	231,730	△701,467
教育活動外収支	収入の部	受取利息・配当金	65,919	50,176	41,970	59,315	69,711
		その他の教育活動外収入	10,000	10,000	5,000	0	0
		教育活動外収入計	75,919	60,176	46,970	59,315	69,711
	支出の部	借入金等利息	11,211	11,095	13,182	11,320	12,560
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	11,211	11,095	13,182	11,320	12,560
		教育活動外収支差額	64,708	49,081	33,789	47,995	57,152
経常収支差額		122,298	128,076	△224,036	279,725	△644,315	
特 別 収 支	収入の部	資産売却差額	14,658	503,063	389,635	23,801	78
		その他の特別収入	73,148	28,764	22,947	24,856	56,521
		特別収入計	87,806	531,827	412,581	48,657	56,599
	支出の部	資産処分差額	687,887	134,457	604,702	40,138	987,951
		その他の特別支出	0	0	0	0	87
		特別支出計	687,887	134,457	604,702	40,138	988,037
		特別収支差額	△600,081	397,370	△192,121	8,519	△931,438
予備費							
基本金組入前当年度収支差額		△477,783	525,446	△416,156	288,244	△1,575,753	
基本金組入額合計		△698,975	△378,345	△161,063	△2,453,499	△768,385	
当年度収支差額		△1,176,758	147,101	△577,219	△2,165,256	△2,344,139	
前年度繰越収支差額		△4,252,721	△4,819,510	△4,492,815	△5,044,657	△7,180,115	
基本金取崩額		609,970	179,593	25,378	29,798	1,488,357	
翌年度繰越収支差額		△4,819,510	△4,492,815	△5,044,657	△7,180,115	△8,035,896	

(参考)

事業活動収入計	9,600,208	9,934,310	9,605,379	9,509,345	9,421,660
事業活動支出計	10,077,991	9,408,864	10,021,535	9,221,102	10,997,413

## ②財務比率の経年比較

財務比率	年度				
	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
<b>人件費比率</b>					
人件費	50.5 %	51.9 %	52.6 %	49.7 %	54.7 %
経常収入					
<b>人件費依存率</b>					
人件費	61.6 %	64.0 %	64.3 %	62.0 %	69.0 %
学生生徒等納付金					
<b>教育研究経費比率</b>					
教育研究経費	36.8 %	36.5 %	39.6 %	39.1 %	43.8 %
経常収入					
<b>学生生徒等納付金比率</b>					
学生生徒等納付金	82.0 %	81.1 %	81.8 %	80.1 %	79.4 %
経常収入					
<b>経常収支差額比率</b>					
経常収支差額	1.3 %	1.4 %	△2.4 %	3.0 %	△6.9 %
経常収入					
<b>事業活動収支差額比率</b>					
基本金組入前当年度収支差額	△5.0 %	5.3 %	△4.3 %	3.0 %	△16.7 %
事業活動収入					

## 2. その他

### (1)有価証券の状況

#### ①総括表

(単位 円)

	当年度(2022年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	2,299,877,000	2,385,440,000	85,563,000
(うち満期保有目的の債券)	(2,299,877,000)	(2,385,440,000)	(85,563,000)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	5,397,219,000	5,267,370,000	△ 129,849,000
(うち満期保有目的の債券)	(5,397,219,000)	(5,267,370,000)	(△ 129,849,000)
合 計	7,697,096,000	7,652,810,000	△ 44,286,000
(うち満期保有目的の債券)	(7,697,096,000)	(7,652,810,000)	(△ 44,286,000)
時 価 の な い 有 価 証 券	15,408,991		
有 価 証 券 合 計	7,712,504,991		

#### ②明細表

(単位 円)

種 類	当年度(2022年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債 券	7,697,096,000	7,652,810,000	△ 44,286,000
株 式	—	—	—
投資信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
そ の 他	—	—	—
合 計	7,697,096,000	7,652,810,000	△ 44,286,000
時 価 の な い 有 価 証 券	15,408,991		
有 価 証 券 合 計	7,712,504,991		

## (2)借入金の状況

残額	3,830,450,000 円
借入先	日本私立学校振興・共済事業団 北洋銀行手稲中央支店
利率	0.5% 0.42%
返済期限	2034 年 9 月 15 日(433,290,000 円) 2035 年 9 月 15 日(622,160,000 円) 2031 年 6 月 25 日(2,775,000,000 円)

## (3)学校債の状況

学校債はありません。

## (4)寄付金の状況

本年度の寄付金は、以下のとおりです。

寄付金の種類	金額(円)
創立 100 周年記念事業(関連事業)	16,134,000
創立 100 周年記念事業(図書館改修)	6,879,000
創立 100 周年記念事業(高校移転)	10,343,000
学生・生徒の自主活動支援寄付金	143,000
+Professional 奨学基金	1,801,000
設置校の学生・生徒への寄付金	5,000,000
奨学寄付金	24,221,800
一般寄付金	3,340,000
現物寄付金	38,024,385
合 計	105,886,185

## (5)補助金の状況

本年度の補助金は、前年度 1,336,956 千円より 81,672 千円減の 1,255,284 千円となりました。主な要因は、大学の「私立大学等改革総合支援事業」の不採択、短大部の学生募集停止に伴う経常費補助金の不交付及び高校の入学定員超過による管理運営費補助金の減額によるものです。

設置校	金額(円)
北海道科学大学	963,097,987(内、経常費補助金 658,881,000)
北海道科学大学短期大学部	4,320,358(内、経常費補助金 0)
北海道科学大学高等学校	287,865,675(内、管理運営費 265,176,000)
合 計	1,255,284,020

なお、上記金額には、学生生徒の授業料減免となる修学支援新制度及び私立高等学校等授業料軽減補助金 合計(302,794,400 円)を含みます。

## (6) 収益事業の状況

本法人は、調剤、一般用医薬品及び介護用品などを扱う保険薬局を設置しています。  
 コロナ禍の影響を受け経常損失が 3,568 千円となったため、学校会計繰入支出は 0 円となりました。

### 損益計算書

(単位:千円)

科 目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
<b>【売上高】</b>					
売上高	454,712	470,586	497,890	441,123	441,756
<b>【売上原価】</b>					
期首商品棚卸高	18,355	18,277	23,823	15,475	10,936
当期商品仕入高	344,665	375,304	387,377	351,098	349,484
合計	363,020	393,581	411,200	366,573	360,421
期末商品棚卸高	18,277	23,823	15,475	10,936	10,544
売上原価	344,743	369,758	395,725	355,637	349,877
売上総利益	109,968	100,828	102,165	85,486	91,879
<b>【販売費及び一般管理費】</b>					
販売費及び一般管理費	92,962	91,695	99,198	97,115	97,066
営業利益(損失)	17,006	9,133	2,967	△11,629	△5,187
<b>【営業外収益】</b>					
営業外収益	4,675	4,280	4,131	4,926	1,664
営業外費用					45
経常利益(損失)	21,681	13,412	7,099	△6,703	△3,568
<b>【特別損失】</b>					
学校会計繰入支出	10,000	10,000	5,000	0	0
税引前当期純利益(損失)	11,681	3,412	2,099	△6,703	△3,568
法人税・住民税及び事業税	0	0	0	0	0
当期純利益(損失)	11,681	3,412	2,099	△6,703	△3,568



### (7) 関連当事者等との取引の状況

#### ① 関連当事者

該当取引はありません。

#### ② 出資会社

名称及び事業内容	HUSサポート株式会社
事業内容	OA機器、事務用機器及び事務用品の販売、アウトソーシング事業等
資本金の額	10,000,000 円
学校法人の出資金額等及び当該会社の総株式等に占める割合並びに当該株式等の入手日	2020年6月15日 10,000,000円 200株 総出資金額に占める割合 100%
当期中に学校法人が当該会社から受け入れた配当及び寄附の金額並びにその他の取引の額	
当該会社への支払額	消耗品費 44,452,481 円 用品費 17,492,350 円 機器備品 15,561,859 円 業務委託費 102,580,605 円 その他 59,428,556 円
当該会社の債務に係る保証債務	
学校法人は当該会社について債務保証を行っていません。	

### (8) 学校法人間財務取引

該当取引はありません。

## 3. 経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

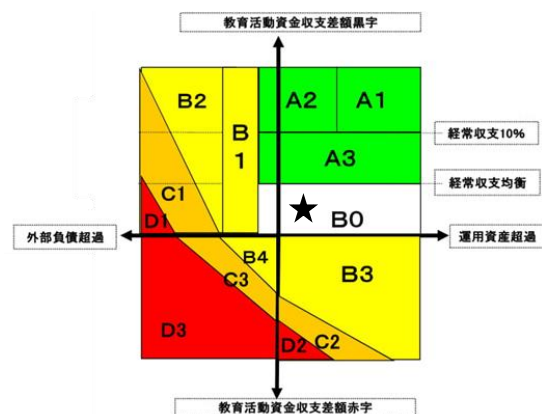
### (1) 経営状況の分析

本法人の経営分析は、主な財務指標の推移及び日本私立学校振興・共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」(下図)を基に行っています。

事業活動収支における重視指標は、経常的な収支バランスを表す「経常収支差額比率」です。2021年度はマイナス6.9%となりましたが、要因は大学の旧校舎解体に伴う解体費用の計上や短大部の学生募集停止に伴う一過性の支出によるものです。学校法人の本業である教育活動でキャッシュフローが生み出せているかを示す「教育活動資金収支差額比率」はプラス6.6%であり、施設設備の整備や借入金の返済に充てる原資は確保されています。

貸借対照表関係で重視する指標は、持続的かつ安定的な法人運営を行うために必要な運用資産の保有状況を表す「積立率」です。2013年から計画的に進めている校舎建替及び新校舎建設費用の支出により減少傾向にあります。2021年度は、旧校舎の解体(除却)による減価償却累計額の取り崩し等により、前年度より1.1ポイント改善し76.0%となりました。

直近3か年のうち2か年の経常収支差額比率がマイナスとなったため、定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分は昨年度のA3からB0になりました。法人創立100周年に向けた一連の改革に伴う一過性の支出が要因ですが、これらの改革を学生・生徒募集の安定化につなげ、引き続き盤石な法人運営基盤を構築してまいります。



定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分(図)  
※★印は本学

※私学事業団発行の「今日の私学財政」令和 3(2021)年度版における令和元(2020)年度の貸借対照表(医歯系大学を除く大学法人)の値

## (2) 経営上の成果と課題

### (成果)

収入の大半を占める学生生徒等納付金の安定化が法人運営の最重要課題であると認識しており、大学においては、2014 年度の保健医療学部 3 学科新設をはじめ、2018 年には法人設置校の北海道科学大学と北海道薬科大学を統合するなど、社会のニーズに対応した改組改編を行うことにより、入学者数は継続的に定員を充足しています。

学生生徒等納付金収入以外では、法人創立 100 周年記念事業寄付金の募集を開始し、2021 年度は卒業生及び卒業生が活躍する企業等から約 34,000 千円の寄付をいただきました。創立 100 周年を迎える 2024 年に向けて同窓会との連携強化を図り、卒業生との接点を増やすなど、引き続き募集活動を推進します。

一方で、補助金収入は、文部科学省の「遠隔授業活用推進事業」や「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業」など、コロナ禍における新たな補助金制度に採択されましたが、改革総合支援事業の不採択や短大部の学生募集停止に伴う経常費補助金の不交付などにより 81,000 千円の減少となりました。改革総合支援事業については、学長のリーダーシップに基づく学内体制の再構築に取り組み、2022 年度の採択を目指します。

外部資金においては、受託研究・共同研究等の受け入れ体制の強化や科研費採択率向上のための各種取り組みを継続的に行っております。2021 年度は前年度より件数、金額ともに増加し、総計 118 件/102,805 千円の資金を受け入れました。

また、将来を見据えた新たな収入財源の開拓のため、寄付金募集体制の強化、収益事業としての附属薬局の運営、効率的な資金運用を行うための資金運用規程の改正、出資会社の設立などの取り組みを行っています。2021 年度は出資会社(HUS サポート株式会社)から 5,000 千円の寄付金を受け入れました。

### (課題)

2013 年から始まったキャンパス再整備計画が現在も進行中であり、既存校舎の建替及び新校舎建設に伴う資金支出が続いており、これらの大規模投資により教育・研究の質向上を図り、学生・生徒募集の安定化に繋げなければなりません。

併せて、次期事業計画に向けた資金の積み上げが必要であり、そのための原資の造出が課題です。

また近年では、新型コロナウイルス感染症やウクライナ問題などの社会的リスクや自然災害などの予測不能な経営リスクに対応可能な財務・組織の構築も重要な課題の一つです。

## (3) 今後の方針・対応方策

2020 年度に策定した第 2 期中期事業計画では、創立 100 周年を迎える 2024 年までの 5 か年における重点改革事項として<北海道科学大学高等学校の前田キャンパス移転による高大一体教育の実現><Society5.0 に対応したデータサイエンス教育の展開><100 周年記念会館による「学ぶと人生をつなぐ」能動的学習の推進>を掲げています。

これらの事業を財務面から支えるとともに、将来に亘る安定的な財務基盤を確立するため、財

務指標(人件費比率、教育研究経費比率、管理経費比率)による収支改善目標を設定し、2024 年までに達成することとしています。

当面は、第 2 期中期事業計画の実行により大規模な支出を伴うこと、また、支出の削減は、教育の質の担保を前提に進める必要があることから、教育研究経費の水準は一定水準を確保しつつ管理経費を重点的に削減し、経常収支については大幅な黒字を目指すことはせず、収支均衡を目標としています。

将来的には 18 歳人口の減少等の社会的要因により学生・生徒の確保が難しくなると見込まれることから、学生生徒等納付金以外の収入源の開拓に力を入れていきます。

具体的には、積極的な寄付金募集活動、補助金・外部資金の獲得強化、安全かつ効率的な資金運用などを推進し、財務基盤の強化を図っていきます。



**2024年・100周年**  

---

**共に未来をつなぐ**